明治十九年 大阪府管内虎列拉病流行紀事

目次

一 發熄ノ月日
一 病毒發生ノ原因及傳染ノ媒介
一 傳染ノ緩急
一 流行ノ廣狹
一 流行進路
一 處務ノ條件
一 豫防消毒ノ成績概略
一 治療ノ方法
一 消費ノ金額
一 患者發病日計
一 患者町村員數表
一 患者死亡町村別
一 患者死亡別
一 避病院舍患者表

一交通遮斷地患者表
一患者一家別
一檢疫委員患者表
一患者死亡週間別
一死亡者時間別
一患者年齡別
一患者職業別
一患者發病原因表

明治十九年 **大阪府管内虎列拉病流行紀事**

發熄ノ月日

一月二日ヨリ十二月十三日ニ至ル此間日數三百四十六日ナリ

病毒發生

本年府下ニ猖獗蔓延ヲ極メタル虎列刺病毒發生ノ原因如何ヲ探究セントスル迄遡ッテ認スルヿ能ハザレモ本年ノ流行ハ本年新ニ發生或ハ輸入セシ病毒劇烈ナル寒氣ノ爲ニ一時退縮ノ兆アリシモ全年十一月ヨリ本年一月ニ亘リ二三名ノ新患斷ユルヿナク寒氣漸ク去リ候ヨリ餘孽再ビ萌動シ薄暑ノ候ニ及テハ所在ニ潛伏スル所ノ病毒頓ニ蕃殖ノ好機會ヲ得テ大ニ猖獗ヲ逞フシ七月八月ノ交ヲ最モ甚シトスル而シテ我府下ノ他地方ニ超ヘテ蔓延ヲ極メタルハ蓋シ所以ナキニアラザルヘシ回顧スルニ昨年夏秋ノ交ニ當リ非常ノ水害ニ遭遇シテ就中卑低ノ地ニ於テハ長キハ數旬短キモ數日間汚水ノ滯溜スル所トナリシヲ以テ土壤久シク乾燥セズ延テ本年ニ至リ大ニ病芽ノ蕃殖ヲ助ケタルモノナラン然ル所以ハ管内ニ於テ最低ノ地位ヲ占メタル西成郡及西區殊ニ病勢ノ劇シカリシヲ以テ証スヘシ其他傳染ノ媒介トナリシモノ種々一ナラズシテ之ヲ枚擧スルニ遑アラザレモ就中其著明ナルモノヲ畧記セシニ川河ノ廣狹大小ヲ論セズ汲テ以テ飲料ニ供シ且ツ飲食物及其器具ヨリ衣服衾褥等ニ至ルマデ之ヲ河流ニ洗浣スルハ人民舊來ノ慣習ニシテ偶共川河ノ上流ニ沿フタル町村ニ發病者アリテ檢疫官ノ出張ニ先チ汚穢物ヲ河中ニ洗浣スルハ續テ其下流沿

岸ノ町村ニ蔓延スルヿ郡區殆ド一轍ニ出ルモノヽ如シ又無智ノ人民病毒ノ長避スベキヲ悟ラズ偶吐瀉病ニ罹ル者アッテ檢疫官ノ未タ出張セザル際ハ親戚及近隣ノ者之ヲ訪來テ親接シ或ハ飲食スル等ノ爲ニ傳染ヲ免レザルアリ又消毒施行ノ何故タルヲ知ラズ患者ノ衣服等ヲ官吏ノ出張スルニ先チ竊ニ交換スル等ヨリ傳染スル者アリ又飲食物ノ注意等ハ頻回諭達スルモ之ヲ遵守スルニ意ナクシテ過飲飽食シ或ハ腐敗ニ傾キタル物ヲ食シテ發病ノ誘因トナリシ者十ノ八九ニ居レリ而シテ大和河内和泉ノ遠隔郡村ニ在テ其初發ハ大抵大阪四區及堺區ノ市街ヘ交通往來セシニ起因セル者多シトスル

傳染ノ緩急

初發卽自一月二日至仝月八日一週間新患者二十六人死亡十九人第二週ニ新患者十九人死亡十八人第三週ニ新患者十四人死亡十一人第四週ニ新患者十七人死亡十八人第五週ニ新患者六人死亡六人第六週ニ新患者九人死亡六人第七週ニ新患者五人死亡六人第八週ニ新患者十三人死亡八人第九週ニ新患者八人死亡八人第十週ニ新患者二十六人死亡二十四人第十一週ニ新患者十一人死亡十八人第十二週ニ新患者十六人死亡十五人第十三週ニ新患者八人死亡七人第十四週ニ新患者十三人死亡八人第十五週ニ新患者十七人死亡十二人第十六週ニ新患者五十六人死亡四十八人第十七週ニ新患者六十五人死亡四十九人第十八週ニ至リ頓ニ百三十六人ノ新患者及百二人ノ死亡者ヲ出シ爾後病勢倍々猖獗ヲ極メ第十九週ニハ新患者二百五十八人死亡二百八第二十週ニハ新患者七百四十六人死亡五百五十四人第二十一週ニハ新患者九百六十六人死亡八百二人第二十二週ニハ新患者六百五十九人死亡五百七十六人第二十三週ニハ新患者五百九十八人死亡五百三十七人第二十四週ニハ新患者五百八十六人死亡四百八十二人第二十五週ニハ新患者九百九人死亡七百五十三人第二十六週ニハ新患者千六十三人死亡八百五十八人第二十七週ニハ新患者千三十四人死亡八百五十五人第二十八週ニハ新患者千二十八死亡

八百五十七人第二十九週ニハ新患者千二百四十二人死亡九百三十九人第三十週ニハ新患者千三百二十九人死亡千百十四人最高度ニ上リタルハ第三十一週即自七月三十一日至八月六日週間ニシテ新患者千三百五十二人死亡千百九人第三十二週ニ新患者千二百九十五人死亡千人第三十三週ニ新患者九百六十一人死亡七百八十七人第三十四週ニ新患者千七十七人死亡七百七十二人第三十五週ニ新患者九百十六人死亡七百四十九人第三十六週ニ新患者六百六十人死亡五百三十五人第三十七週ニ新患者七百三人死亡五百三十二人第三十八週ニ新患者五百八十六人死亡四百八十四人第三十九週ニ新患者三百三十九人死亡二百九十人第四十週ニ新患者二百四十二人死亡二百五人第四十一週ニ新患者二百二十八人死亡百八十六人第四十二週ニ新患者百八十一人死亡百四十一人第四十三週ニ新患者百三十六人死亡百二十六人十月三十日頃ヨリ病勢漸ク衰退シテ第四十四週ニ新患者八十人死亡八十四人ニ下リ爾來日ヲ逐ヒテ患者減少シ第四十五週ニ新患者四十四人死亡四十三人第四十六週ニ新患者二十五人死亡二十四人第四十七週ニ新患者十三人死亡十三人第四十八週ニ新患者二人死亡三人第四十九週ニ新患者一人ニ下リ十二月十一日ヨリ仝月十三日ノ三日間ニ一人ノ新患者一人ノ死亡ナリ

流行ノ廣狹

管内五區四十二郡ノ内八百二十八ヶ町千百五十一ヶ村ニ流行シ其範圍平積大約三百六十一方里ナリ

虎列拉病流行進路

月	日	攝津國町村	和泉國町村	河内國町村	大和國町村
一月	二日	西區新町南通五丁目	堺區南半町		
		仝區阿波坐中通一丁目			
		南區日本橋筋五丁目			
		仝區谷町六丁目			
	三日	西成郡上福島村	堺區神明町東一丁		
		西區京町堀上通四丁目			
		南區鍛冶屋町			
		北區安治川通南二丁目			
	四日	西區立賣堀裏町			
		南區日本橋筋三丁目			
	五日	西成郡材木置場町			
		東成郡北平野町	堺區熊野町		
	六日	西區南堀江下通二丁目	南郡岸和田北ノ町		

一月六日	仝區南堀江通六丁目	
	西成郡今木新田	
七日	西區立賣堀北通六丁目	堺區龍神橋通二丁
	仝區新町通五丁目	
	南區瓦屋町二番町	
八日	仝區日本橋筋四丁目	
九日	西區幸町通四丁目	丹北郡小山村
	南區高津町九番町	
	西成郡蕊苑町	
十日	西區松島町二丁目	
	南區笠屋町	
	仝區問屋町	
十一日	西區江戸堀南通五丁目	
	仝區本田町通二丁目	
	西成郡西側町	
	仝郡難波村	

十二日	南區宗右衛門町	
	仝區高津町一番町	
	仝區高津町七番町	
十三日	仝區横堀七丁目	茨田郡門真一番下村
十四日	仝區日本橋筋一丁目	
十六日	仝區難波新地三番町	
	仝區難波新地五番町	
	東成郡西玉造村	
十八日	西區阿波座上通三丁目	
十九日	南區竹屋町	堺區市ノ町西四丁
	北區曾根崎新地一丁目	
二十日		堺區車ノ町
廿二日		仝區大町東一丁
廿三日	西區幸町通二丁目	
	東區兩替町一丁目	
廿四日	西區京町堀上通五丁目	

一月	廿四日	東區鎗屋町二丁目	
	廿五日	西區南堀江二番町	
		南區難波新地二番町	
	廿六日	西區幸町通五丁目	
		北區大工町	
	廿七日	西區北堀江三番町	
	廿八日	仝區北堀江通五丁目	
二月	二日	東區內本町橋詰町	
	三日	南區內安堂寺町通一丁目	
	五日	西區西長堀北通五丁目	
		南區內安堂寺町通二丁目	
		北區富田町	
	六日	南區北桃谷町	
	九日	東區尾町四丁目	
		北區木幡町	
	十二日	西成郡九條村	

	十五日	南區松屋町	
	十七日	西區靱南通二丁目	堺區寺地町東二丁
	二十日	西區本田三番町	
	廿一日	東區備後町四丁目	
	廿二日	北區靫屋町二丁目	
	廿三日	西區西長堀北通二丁目	
		北區堂島裏二丁目	
		東成郡天王寺村	
	廿八日	西區西道頓堀通五丁目	
		北區堂島濱一丁目	
		西成郡曾根崎村	
		豐島郡池田村	
三月	二日	東區横堀二丁目	
		北區安治川通北二丁目	
	三日	西區江戸堀下通五丁目	
	六日	西成郡千島新田	南郡土生村

三月七日	北區富島町		式上郡三輪村
	西成郡三軒屋村		
八日	西區南堀江下通四丁目		
九日	東區農人橋二丁目	南郡岸和田濱町	
	北區安治川通北一丁目		
十日	西區江戸堀北通三丁目	茨田郡門真四番村	
	全區裏新町		
	全區北堀江下通六丁目		
	全區花園町		
十一日	全區新町通四丁目		
	全區北堀江下通五丁目		
十三日	全區北堀江上通二丁目		
十五日	南區疊屋町		
二十日	西區西長堀南通五丁目		
	東區平野町二丁目		
廿一日	全區高麗橋五丁目		

廿三日	全區南新町二丁目		
廿四日	西區土佐堀通二丁目		
廿七日	全區新町通三丁目	丹南郡西村	
廿九日	北區松ヶ枝町		
	西成郡三軒屋町		
四月二日	西區土佐堀通五丁目	堺區九間町西二丁	
		南郡春木村	
五日	西區靱中通三丁目		
六日	西成郡今宮村	日根郡佐野村	
七日	南區末吉橋通三丁目		
	東區粉川町		
八日	全區伏見町二丁目		
十日			宇陀郡西山村
十一日	西區靱北通二丁目		添上郡東向中ノ町
十二日	西成郡加島村		
十三日	全郡下福島村		

四月

十三日	西成郡木津村		
十四日	東區高麗橋二丁目		
十六日	西區南堀江通二丁目		
十七日	仝區西長堀南通四丁目		
	仝區西道頓堀通三丁目		
	南區大寶寺町中ノ町		
	東區南久寶寺町三丁目		
	北區天神筋町		
十八日	西區阿波堀裏町	添上郡高畑村	
	東區淡路町三丁目		
十九日	西區西長堀北通一丁目		
	仝區北堀江下通四丁目		
	仝區南堀江三番町		
	東區北久寶寺町三丁目		
二十日	西區梅本町	添下郡九條村	
	南區末吉橋通四丁目		

廿一日	堺區柳ノ町西三丁		
廿二日	西區本田町通三丁目	添下郡柳町四丁目	
	南區鹽町通四丁目		
	東區京橋二丁目		
	北區古川町		
廿三日	南區二ッ井戸町		
	仝區瓦屋町三番町		
	東區横堀三丁目		
	北區新川崎町		
	西成郡木屋新田		
	東成郡中村		
廿四日	西成郡池山新田	堺區中ノ町西四丁	
	仝區新在家町西三丁		
廿五日	北區市ノ町	仝區柳ノ町西二丁	
	仝區龍田町	大鳥郡舳松村	
	東成郡野田村		

四月廿六日

西區北堀江三番町　澁川郡久寶寺村

西成郡野田村

西成郡北福崎新田

廿七日

西區靱南通三丁目

東區谷町四丁目

全區博勞町四丁目

西成郡島屋新田

廿八日

西區靱南通五丁目　堺區並松町　澁川郡大地村

南區高津町四番町

東區本町二丁目

北區樋ノ上町

島下郡吹田村

廿九日

西區阿波堀通三丁目

全區北堀江裏町

全區南堀江上通五丁目

南區高津町八番町

全區御藏跡町

東區淡路町四丁目

東成郡南平野町

三十日

西區靱南通四丁目

全區北堀江一番町

全區南堀江通一丁目

南區鰐谷東ノ町

全區東清水町

西成郡難波島町

五月一日

西區阿波堀通四丁目

全區北堀江通四丁目

南區東櫓町

南區高津町十番町

全區高津町三番町

全區空堀町

全區順慶町通一丁目

五月一日	北區安治川通上二丁目	
二日	南區九郎右衛門町	堺區北旅籠町東一丁
	仝區湊町	
	仝區長堀橋筋二丁目	
	仝區玉屋町	
	東區內久寶寺町三丁目	
	北區堂島中二丁目	
	仝區紅梅町	
	仝區安治川通上二丁目	
	西成郡天保町	
	仝郡大和田村	
	仝郡千年新田	
三日	西區薩摩堀南ノ町	堺區車ノ町東一丁
	仝區新町通二丁目	
	仝區幸町通二丁目	
	南區東新淸屋町	

	仝區南綿屋町	
	仝區順慶町通三丁目	
	東區糸屋町一丁目	
	北區安治川通南三丁目	
	西成郡津守新田	
四日	西區土佐堀通四丁目	添下郡洞泉寺町
	仝區靏摩堀裏町	
	南區淸屋町一番町	
	東區谷町三丁目	
	仝區北久寶寺町四丁目	
	西成郡千里町	
五日	西區江戸堀南通二丁目	
	仝區江戸堀南通三丁目	
	仝區江戸堀下通二丁目	
	東區大川町	
	西成郡市岡新田	

五月六日	西區江戸堀南通四丁目	堺區宿屋町東一丁
	全區江戸堀下通四丁目	南郡岸和田村
	全區京町堀通一丁目	
	全區新町北通一丁目	
	全南區堀江通四丁目	
	東區北久太郎町一丁目	
	北區安治川通北三丁目	
七日	西區土佐堀通三丁目	堺區中ノ町西一丁
	全區江戸堀上通二丁目	
	全區江戸堀北通二丁目	
	全區靱下通二丁目	
	全區江ノ子島西ノ町	
	南區久左工門町	
	北區中ノ島七丁目	
	全區網島町	
	西成郡桑町	

	全郡塚本村	
八日	南區長堀橋筋一丁目	
	全區坂町	
	東區內淡路町二丁目	
	全區谷町一丁目	
	全區今橋二丁目	
	北區玉江町一丁目	
	全區常安町	
	全區天神橋筋三丁目	
	全區壺屋町一丁目	
九日	西區京町堀通四丁目	茨田郡太間村
	南區谷町七丁目	
	全區高津町二番町	
	東區唐物町一丁目	
	北區岩井町一丁目	
	全區中ノ島一丁目	

五月九日	北區中ノ島二丁目	
	西成郡北長柄村	
	仝郡本庄村	
	住吉郡平野市町	
十日	西區阿波坐四番町	堺區神明町西一丁
	仝區江戸堀下通三丁目	泉郡下條大津村
	仝區南堀江通三丁目	
	西成郡湊屋新田	
	東成郡本庄村	
十一日	西區立賣堀南通二丁目	添上郡西新屋町
	仝區薩摩堀北ノ町	
	南區三ツ寺町	
	仝區千年町	
	同區高津町六番町	
	東區大手通二丁目	
	北區綿屋町	

	西成郡春日出新田	
	仝郡淡路村	
	仝郡川崎村	
十二日	西區新町南通二丁目	
	南區南炭屋町	
	東區南新町一丁目	
	仝區島町二丁目	
	仝區京橋三丁目	
	北區堂島裏三丁目	
	西成郡伽村	
十三日	西區西長堀南通一丁目	大鳥郡高石南村
	仝區西長堀南通三丁目	石川郡山田村
	仝區南堀江下通一丁目	古市郡尺度村
	仝區西道頓堀通二丁目	平群郡勢野村
	南區北炭屋町	葛下郡新庄村
	仝區瓦屋町五番町	

五月十三日

南區日本橋筋二丁目
全區周防町
東區大手通一丁目
全區瓦町五丁目
全區南本町四丁目
全區南久寳寺町四丁目
北區朝日町
西成郡南新田
全郡菜摘町
全郡稗島村
住吉郡南加賀屋新田

十四日

西區土佐堀通一丁目　堺區南旅籠町西一丁　志紀郡澤田村
全區立賣堀南通一丁目
全區江ノ子島東ノ町
全區新町南通三丁目
南區難波新地四番町

東區內本町一丁目
全區北濱一丁目
全區北濱五丁目
北區堂島船大工町
全區老松町二丁目
全區真砂町
全區中ノ島四丁目
西成郡粉濱村
全郡洲先町
全郡西高津村
全郡福村
豐島郡島田村

十五日

西區京町堀通五丁目　堺區南旅籠町東三丁　古市郡古市村　平群郡笠目村
全區新町北通二丁目　日根郡淡輪村　茨田郡池田村
全區北堀江下通一丁目
全區本田町通一丁目

五月十五日

南區大和町	
東區南農人町一丁目	
北區堂島濱通四丁目	
仝區中ノ島六丁目	
仝區末廣町	
住吉郡新在家村	
仝郡上住吉村	
十六日	
西區立賣堀北通一丁目	堺區大濱通四丁
南區西櫓町	仝區南半町西二丁
仝區西新瓦屋町	仝區櫻ノ町東一丁
東區龍造寺町	仝郡鴻池新田
仝區鎗屋町一丁目	
仝區高麗橋詰町	
仝區北久太郎町三丁目	
仝區南久寶寺町一丁目	
仝區博勞町三丁目	

若江郡木戸村	添上郡西寺林町
仝郡若江南村	仝郡東寺林町
仝郡箕輪村	

西成郡七瀬町	
島上郡辻子村	
豐島郡櫻塚村	
十七日	
西區京町堀上通三丁目	泉郡宇多大津村
仝區南堀江下通三丁目	南郡極樂寺村
南區瓦屋町四番町	
仝區高津町五番町	
東區神崎町	
仝區安土町二丁目	
北區曾根崎新地三丁目	
仝區安治川通南一丁目	
仝區天神橋筋一丁目	
仝區此花町二丁目	
仝區信保町二丁目	
仝區空心町二丁目	
西成郡勝間村	

志紀郡國府村	添上郡高天町
若江郡若江北村	仝郡高御門町
茨田郡高瀬村	仝郡芝新屋町
仝郡門真一番上村	仝郡手貝町
	添下郡南郡山村

五月十七日

西成郡入江町		
全郡泉尾新田		
全郡浦江村		
住吉郡平野々堂町		
島上郡唐崎村		
十八日		
西區北堀江通二丁目	堺區車ノ町東四丁	大縣郡大縣村
全區南堀江通五丁目	大鳥郡土師新田	全郡公納堂町
全區南堀江上通四丁目	南郡新在家村	
南區大寶寺町東ノ町	日根郡樽井村	
全區上本町筋二丁目		
全區田島町		
全區壇町通二丁目		
全區心齋橋筋一丁目		
東區住吉町		
全區瓦町一丁目		
北區相生町		

全區鳴尾町		
全區曽原町		
全區中ノ島五丁目		
西成郡八幡屋新田		
全郡北野村		
全郡申村		
東成郡今福村		
住吉郡南濱口村		
島下郡太田村		
全郡島村		
豐島郡勝部村		
十九日		
西區京町堀通三丁目	堺區熊野町東二丁	志紀郡沼村
全區鞠中通二丁目	日根郡尾崎村	茨田郡常稱寺村
全區阿波坐二番町		全郡泥町村
全區西長堀南通二丁目		
全區北堀江下通二丁目		

五月十九日

西區西道頓堀通六丁目		
東區釣鐘町二丁目		
全區備後町三丁目		
全區本町四丁目		
西成郡小林新田		
東成郡阿部野村		
全郡新喜多新田		
住吉郡鷹合村		
全郡住吉村		
全郡今在家村		
全郡寺岡村		
全郡安立町		
島上郡大塚村		
島下郡山田上村		
豐島郡畑村		
全郡新免村		

二十日

西區靱上通一丁目	堺區甲斐町	丹南郡河原城村	添上郡坊屋敷町
全區靱下通一丁目	大鳥郡南島新田	丹北郡住道村	添下郡柳町村
全區阿波坐上通貳丁目		澁川郡東足代村	
全區阿波坐中通二丁目		茨田郡佐太村	
全區阿波坐三番町		全郡枚方村	
全區立賣堀南通四丁目			
全區十返町			
全區本田貳番町			
南區饂谷中ノ町			
全區饂谷西ノ町			
全區安堂寺橋通貳丁目			
東區石町貳丁目			
全區道修町貳丁目			
全區安土町四丁目			
全區南久太郎町一丁目			
全區南久太郎町三丁目			

五月廿日

西成郡霧島町	
仝郡岩崎新田	
仝郡南恩賀島新田	
仝郡光立寺村	
仝郡柴島村	
仝郡小島村	
東成郡中道村	
島下郡福井村	
仝郡眞砂村	
仝郡澤良宜濱村	

廿一日

西區江戸堀北通五丁目	堺區大町西貳丁
南區鹽町通三丁目	河内郡六万寺村
仝區櫻ノ町東貳丁	若江郡中野村
仝區末吉橋通一丁目	茨田郡下村
仝區内安堂寺町通三丁目	大鳥郡草部村
東區兩替町貳丁目	南郡山直中村
仝區内本町貳丁目	

仝區内平野町貳丁目	
仝區北濱貳丁目	
仝區北久太郎町四丁目	
仝區博勞町一丁目	
仝區南渡邊町	
仝區横堀六丁目	
北區若松町	
西成郡宮原新家	
仝郡清堀村	
東成郡森小路村	
島下郡山田中村	
仝郡新在家村	

廿二日

西區江戸堀北通二丁目	堺區戎島二丁
仝區江戸堀下通二丁目	大鳥郡舟尾村
仝區北堀江通一丁目	茨田郡濱村
仝區西道頓堀通四丁目	仝郡大庭七番村
	仝郡陰陽町
	添下郡魚町
	仝郡北郡山村
	添上郡法蓮村

五月廿二日	西區松島町一丁目	
	仝區高砂町一丁目	
	仝區南堀江上通一丁目	
	東區谷町四丁目	
	仝區伏見町三丁目	
	仝區冤町貳丁目	
	北區空心町貳丁目	
	仝區岩井町貳丁目	
	西成郡大野村	
	仝郡西島新田	
	仝郡下三番村	
廿三日	西區京町堀上通一丁目	堺區宿院町西貳丁
	仝區阿波堀通一丁目	仝區市ノ町東六丁
	仝區阿波坐下通二丁目	大鳥郡湊村
	仝區阿波坐一番町	

	仝區立賣堀南通三丁目	
	仝區南堀江上通二丁目	
	南區順慶町通四丁目	
	東區內久寶寺町四丁目	
	仝區舟越町二丁目	
	仝區京橋一丁目	
	仝區今橋五丁目	
	仝區北久寶寺町一丁目	
	北區堂島裏一丁目	
	仝區旅籠町	
	仝區信保町一丁目	
	西成郡成小路村	
	仝郡東宮原村	
	東成郡國分村	
	住吉郡北島新田	
	島下郡茨木村	
		高市郡和田村

五月 廿三日

島下郡上新田村	
全郡一津屋村	
全郡上穂積村	
廿四日 西區鞏北通三丁目	堺區新在家町西二丁
全區北堀江上通一丁目	南郡半田村
全區北堀江通三丁目	
全區西道頓堀通一丁目	
全區仲ノ町一丁目	
全區本田一番町	
東區内久寶寺町二丁目	
全區德井町二丁目	
全區南久太郎町二丁目	
北區金屋町一丁目	
全區堂島北町	
西成郡南傳法村	
全郡上新庄村	

島下郡上新田村	
全郡一津屋村	
全郡上穂積村	
堺區新在家町西二丁	志紀郡柏原村
南郡半田村	
全郡池ノ町	添上郡水門村
全郡杉ヶ村	
全郡中筋町	
添下郡紺屋町	
高市郡曲川村	
葛下郡逢坂村	
吉野郡上市村	

全郡海老江村	
全郡野上町	
東成郡蒲生村	
全郡中野村	
全郡中濱村	
住吉郡南田邊村	
島上郡櫻井村	
島下郡島飼八丁村	
廿五日 西區江戸堀上通一丁目	堺區熊野町東四丁
全區阿波堀通五丁目	
全區西長堀北通四丁目	
全區仲ノ町二丁目	
南區雜波新地二番町	
東區材木町	
全區豐後町	
北區此花町一丁目	

全郡海老江村	
全郡野上町	
東成郡蒲生村	
全郡中野村	
全郡中濱村	
住吉郡南田邊村	
島上郡櫻井村	
島下郡島飼八丁村	
河内郡池島村	添上郡北市町
若江郡寺内村	全郡井上町
全郡小若江村	全郡鍋屋町
澁川郡正覺寺村	添下郡疋田村
茨田郡東橋波村	山邊郡丹波市村
全郡諸口村	
讃良郡太子田村	

五月　廿五日

北區天滿橋筋一丁目
　　全區天神橋筋四丁目
　　西成郡三津屋村
　　全郡南濱村
　　全郡恩貴島新田
　　東成郡東今里村
　　島上郡高槻村

廿六日

西區江戸堀北通四丁目　堺區柳ノ町西一丁　石川郡別井村　添上郡今御門町
　　全區阿波坐上通一丁目　南郡岸和田本町　茨田郡寺方村　添下郡西岡町
　　全區北堀江通六丁目　全郡出口村　平群郡窪田村
　　南區上本町筋三丁目　全郡三矢村
　　東區谷町二丁目　讃良郡灰塚村
　　全區常盤町二丁目
　　全區上難波南ノ町
　　北區曾根崎新地二丁目
　　全區天滿橋筋三丁目

　　西成郡中島新田
　　東成郡東高津村
　　島下郡鳥飼西ノ村
　　豐島郡石丸村

廿七日

西區江ノ子島上ノ町　堺區熊野町西二丁　丹北郡矢田部村　添上郡橋本町
　　全區南堀江上通三丁目　全區甲斐町東一丁　茨田郡西橋波村　全郡奈良坂村
　　南區難波新地六番町　全區材木町　全郡押上町
　　東區南久寶寺町二丁目　全區九間町東一丁　山邊郡東井戸堂村
　　北區南森町　大島郡深井村　宇陀郡松山拾生町
　　西成郡濱村　泉郡豐中村　葛上郡伏見村
　　東成郡下辻村
　　島上郡中小路村
　　能勢郡野間中村

廿八日

西區土佐堀裏町　大島郡中筋村　添上郡春日野村
　　全區江戸堀南通一丁目　南郡岸和田南町　全郡北半田中町
　　全區立賣堀北通四丁目　全郡油留木町

五月 廿八日

西區新町通一丁目		添上郡東笹鉾町
仝區西長堀北通三丁目		仝郡平清水町
南區西清水町		葛下郡上牧村
東區釣鐘町一丁目		仝郡中筋村
仝區南本町三丁目		
西成郡川口村		
仝郡野里村		
仝郡御幣島村		
仝郡石田新田		
島上郡奈佐原村		
仝郡宮田村		
仝郡富田村		
島下郡山田小川村		
廿九日 西區鞭南通二丁目		錦部郡小山田村
東成郡南島村		志紀郡老原村
島上郡大塚町		河内郡四條村

島下郡鳥飼中ノ村		茨田郡黒原村
豐島郡熊野田村		仝郡中村
		仝郡木屋村
		仝郡大日村
三十日 西區薩摩堀東ノ町	大鳥郡下石津村	讃良郡深野南新田
南區心齋橋筋二丁目		若江郡西郡村
北區天神橋筋二丁目		大縣郡神宮寺村
西成郡炭屋新田		平群郡法隆寺村
仝郡穩波町		添下郡城村
仝郡安井村		
仝郡四貫島村		
豐島郡井口堂村		
廿一日 東區淡路町五丁目	堺區新在家町東二丁	丹北郡芳林村
仝區備後町五丁目	仝區市ノ町東三丁	若江郡西郷村
北區臼屋町	仝區南旅籠町	
住吉郡杉本村	大鳥郡野代村	添下郡東岡町
		仝郡本町
		仝郡菌町
		高市郡觀覺寺村

五月卅一日	島上郡三島江村	南郡貝塚南ノ町	宇智郡今井村
	仝郡西面村		
	豐島郡小曾根村		
六月一日	西區京町堀上通二丁目	南郡貝塚北ノ町	丹南郡向野村
	仝區靱中通一丁目	日根郡日根野村	高安郡敎興寺村
	南區安堂寺橋通四丁目		
	東區備後町二丁目		
	仝區平野町五丁目		
	北區河內町一丁目		葛下郡三倉堂村
	西成郡淀田村		
	仝郡國分寺村		
	東成郡澤上江村		
	仝郡友淵村		
	仝郡野江村		
	住吉郡濱口村		
二日	南區大寶寺町西ノ町	堺區北旅籠町	石川郡富田林村

	添上郡北魚屋東ノ町	添下郡鹽町	山邊郡勾田村	式下郡但馬村	葛下郡三倉堂村	添上郡美濃庄村

	東區南農人町二丁目	仝區甲斐町東三丁	志紀郡太田村	仝郡三條村
	仝區北新町二丁目	仝區宿屋町	河內郡日下村	添下郡新中村
	北區堂島濱通二丁目	仝區中ノ町東二丁	茨田郡點野村	
	西成郡下新庄村	仝區寺地町西四丁	高安郡恩智村	
	日根郡長滝村			
	仝郡上ノ鄕村			
三日	西區京町堀通二丁目	堺區戎ノ町東二丁	茨田郡今津村	添上郡古市村
	南區末吉橋通二丁目	日根郡小谷村	交野郡長尾村	仝郡林小路町
	東區糸屋町二丁目			仝郡田中村
	北區川崎町			添下郡新木村
	住吉郡殿辻村			仝郡雜穀町
	島上郡柱本村			仝郡西奈良口町
				山邊郡川原城村
				十市郡田原本村
				葛上郡岩崎村
				葛下郡岩橋村

六月三日

四日 東區安土町三丁目 堺區綾ノ町西一丁 大縣郡平野村 葛下郡中井戸村
仝區北濱三丁目 仝區吾妻橋通一丁 茨田郡岸和田村 添上郡法華寺村
住吉郡平野流町 茨田郡岸和田村 交野郡鎌延寺村 添下郡石木村
豐島郡榎坂村 交野郡鎌延寺村 仝郡矢田町
 式下郡宮古村
 十市郡笠神村
 葛下郡神樂村

五日 西成郡天王寺庄 堺區材木町東三丁 錦部郡上原村 式下郡新町村
仝郡北恩加島新田 泉郡池上村 丹南郡丹上村
住吉郡遠里小野村 丹北郡木本村
仝郡苅田村 茨田郡藤田村

六日 西區南堀江一番町 泉郡虫取村 安宿部郡國分村 添下郡茶町
南區八幡町 茨田郡八雲村 山邊郡中村
東區唐物町四丁目 仝郡打越村 式下郡下永村
仝區北久太郎町二丁目 葛下郡西室村
島下郡水尾村 仝郡大畑村

住吉郡平野西脇町

七日 北區今井町 堺區南旅籠町東二丁 若江郡荒本村 添下郡大和田村
仝區伊勢町 讃良郡深野北新田 式上郡柳本村
西成郡北傳法村 宇智郡須惠村
島上郡土室村
島下郡二階堂村

八日 東區瓦町三丁目 堺區南旅籠町西五丁 若江郡長田村 添上郡寺町
北區野田町 仝區櫛屋町西二丁 茨田郡横地村 仝郡本子守町
西成郡南長柄村 日根郡大久保村 交野郡柿葉村 仝郡東向南町
島上郡々家村 添下郡北大工町
仝郡東五百住村 高市郡曾我村
島下郡澤良宜東村

九日 北區金屋町二丁目 日根郡孝子村 交野郡茄子作村 添上郡白土村
東成郡蒲目村 添下郡南大工町
式上郡初瀬村

六月九日

十日	西成郡秀野新田	堺區住吉橋通一丁	錦部郡錦郡村	式下郡唐古村
	東成郡赤川村	仝區熊野町東一丁	磯川郡植松村	仝郡黒田村
	住吉郡平野宿戸口町	仝區車ノ町西二丁		葛上郡芳原村
		仝區戎島三丁		添上郡出屋敷村
		大鳥郡松屋新田		式下郡伊堂村
		日根郡安松村		
十一日	東區北新町一丁目	堺區住吉橋通二丁	丹北郡阿保村	式上郡慈恩寺村
	西成郡北大道村	仝區錦ノ町東一丁		仝郡川合村
	島下郡安威村	日根郡嘉祥寺村		式下郡西代村
		仝郡中庄村		高市郡土佐村
十二日	西區北堀江下通三丁目	南郡濃上村	若江郡下小坂村	添上郡北永井村
	北區天滿橋筋二丁目			平群郡立野村
				十市郡矢部村

十三日	東區道修町四丁目	堺區錦ノ町東二丁	若江郡東弓削村	仝郡高本村
	西成郡西村	南郡岸和田堺町	泉田郡新田村	高市郡今井町
	豐島郡垂水村	日根郡岡本村	交野郡津田村	平群郡西安堵村
				仝郡東安堵村
十四日	西區北堀江上通三丁目	堺區少林寺町東三丁	澁川郡荒川村	葛下郡土庫村
	東區和泉町一丁目	仝區大町東二丁		宇智郡五條村
	仝區南久太郎町四丁目			添上郡南長井村
	住吉郡長峽町			十市郡宮ノ森村
	豐島郡東山村			仝郡大綱村
十五日	東區唐物町三丁目			
	北區瀧川町	堺區綾ノ町東一丁	丹北郡西大塚村	葛下郡中戸村
	仝區絹笠町	南郡三ケ山村	大縣郡安堂村	仝郡畠田村
	仝區宗是町			
	島下郡戸伏村			

六月十五日　豐島郡中川原村　南郡川合村　八上郡小寺村　添上郡杏村

十六日　住吉郡北田邊村　全郡島村　茨田郡桑才村　全郡今市村

島下郡々山村　日根郡新村　全郡南袋町

平群郡八條村

十市郡東新堂村

全郡松本村

全郡山ノ坊村

葛下郡松塚村

忍海郡山田村

十七日　南區壇町通一丁目　堺區寺地町東三丁　若江郡郡塚村　添上郡畑中村

全區樂橋通一丁　茨田郡仁和寺村　全郡內侍原村

大鳥郡蹈尾村　廣瀨郡藤森村

南郡清兒村　式下郡石見村

全郡西ノ內村　十市郡秦庄村

全郡東竹田村

十八日　東區常盤町一丁目　堺區車ノ町東二丁　若江郡上小坂村　葛下郡高田村

全區道修町三丁目　全區宿院町西四丁　添上郡今在家村　全郡市場村

島下郡十日市村　全郡築地ノ內町

豐島郡石蓮寺村　平群郡與留村

十九日　東區上本町一丁目　堺區材木町西一丁　八上郡菩提村　葛下郡曾大根村

西成郡南方村　全區戎島一丁　志紀郡田井中村　添上郡油坂村

東成郡荒生村　全區甲斐町西一丁　丹北郡堀村　式下郡吐田村

豐島郡穗積村　全區神明町東三丁　若江郡近江堂村　十市郡藥王寺村

全區戎ノ町西二丁　全郡大福村

大鳥郡山本新田　高市郡小綱村

南郡下池田村　葛下郡下田村

全郡岸和田並松町

日根郡七丸村

二十日　西區新町南通二丁目　堺區少林寺町西四丁　八上郡野堂村　添上郡八條村

六月二十日

南區南桃谷町	全區南旅籠町西三丁	古市郡藏ノ內村
東區內平野町一丁目	全區熊野町東五丁	河內郡福万寺村
全區平野町三丁目	南郡阿間阿瀧村	大縣郡法善寺村
北區西堀川町	日根郡貝掛村	
全區中ノ島三丁目		
全區河內町二丁目		
島下郡宇野邊村		
廿一日 東區內久寶寺町一丁目	堺區新在家町東三丁	
全區德井町一丁目	全區南旅籠町西二丁	
豐島郡西小路村	全區少林寺町西二丁	
	大鳥郡市村	
廿二日	日根郡脇濱村	
	堺區少林寺町西三丁	丹北郡長原村

	添上郡中院町	
	全郡南半田西町	
	全郡鳴川町	
	添下郡柳町六丁目	
	全郡中鍛冶町	
	山邊郡庵治村	
	平群郡服部村	
	高市郡久米村	
	全郡土佐町	
	葛上郡御所町	
	添上郡京終地方東側町	
	全郡油坂町	
	山邊郡御經野村	
	高市郡川西村	
	吉野郡善城村	
	添上郡横井村	

	全區新在家町東四丁	河內郡市場村
	全區甲斐町西二丁	若江郡菱屋東新田
	大鳥郡北庄村	
	泉郡春木村	
	南郡岸和田魚屋町	
廿三日 東區農人橋一丁目	堺區大濱通二丁	八上郡南花田村
北區堂島中一丁目	南郡三松村	丹南郡北野田村
全區天滿橋筋四丁目	日根郡谷川村	若江郡山本新田
住吉郡嶋木新田		全郡菱江村
島上郡前島村		茨田郡三島村
島下郡佐井寺村		全郡伊加賀村
		讚良郡三箇村
廿四日 島下郡別府村	堺區北旅籠町西二丁	澁川郡衣摺村
	全區宿院町東一丁	
	全區少林寺町	

	廣瀨郡廣瀨村	
	平群郡稻葉車瀨村	
	十市郡佐味村	
	添上郡木辻村	
	全郡肘塚村	
	全郡高天市百姓方	
	添下郡奈良町	
	全郡小泉村	
	高市郡御園村	
	葛上郡池ノ內村	
	葛下郡南藤井村	
	添上郡稗田村	
	全郡大江村	
	全郡柳生村	

六月 廿四日	南郡土生瀧村	添上郡不審ヶ辻子町
	仝郡水間村	仝郡小太郎町
		平群郡目安村
		式下郡唐院村
廿五日	東成郡内代村	堺區材木町東四丁
	島上郡氷室村	茨田郡下馬伏村
		仝郡北向町
		山邊郡田村
		廣瀬郡大輪田村
		仝郡城内村
		十市郡櫻井村
		葛上郡戸毛村
廿六日	西區立賣堀北通二丁目	堺區南旅籠町西四丁
	東區横堀五丁目	仝區市ノ町西三丁
	北區源藏町	泉郡内畑村
	東成郡馬場村	
廿七日	西成郡今里村	大鳥郡北王寺村

		泉郡忠岡村
		南郡尾生村
		日根郡岡田村
廿八日	南區順慶町通二丁目	堺區戎ノ町東六丁
	東區船越町一丁目	仝區少林寺町東二丁
	北區玉江町二丁目	仝區新在家町西五丁
	島下郡味舌下村	大鳥郡長承寺村
	仝郡奈良村	南郡田治米村
		仝郡沼村
廿九日	東成郡鳴野村	堺區大町西一丁
	豐島郡洲倒止村	仝區北旅籠町東二丁
		泉郡池浦村
三十日	西區立賣堀南通五丁目	堺區北旅籠町西三丁
	東區上難波北ノ町	仝區大濱通一丁

		添下郡新村
		廣瀬郡辨才天村
		葛下郡南道穗村
		添下郡西田中村
		仝郡今井村
		式上郡箸中村
		十市郡十市村
		葛下郡南今市村
	石川郡大ヶ塚村	添上郡高天市町
	仝郡神山村	山邊郡九條村
	茨田郡北島村	平群郡久安寺村
	讃良郡堀溝村	式上郡出雲村
		葛下郡八川村
	石川郡龍泉村	添上郡南市町
	志紀郡大井村	仝郡漢國町

六月三十日　島下郡内瀬村　南郡野村　丹南郡南島泉村　平群郡山崎村
　　全郡山田下村　若江郡大信寺新田　式上郡戒重村
　　豐島郡濱村　茨田郡氷野村　式下郡法貴寺村
七月一日　住吉郡平野泥堂町　堺區櫻ノ町西三丁　全郡大利村　十市郡新木村
　　全區錦ノ町西三丁　丹南郡岡村　添上郡奥子守町
　　全區柳ノ町　茨田郡石津村　丹北郡更池村　全郡鶴福院町
　　全區市ノ町　交野郡燈油村　山邊郡石上村
　　南郡貝塚西ノ町　讃良郡南野村　廣瀬郡南鄉村
　　　　　　　　　　　　　　　　全郡平尾村
　　　　　　　　　　　　　　　　式下郡坂手村
　　　　　　　　　　　　　　　　宇陀郡粟谷村
　　　　　　　　　　　　　　　　十市郡新賀村
二日　西區新町南通四丁目　　　　高市郡清水谷村
　　東區十二軒町　　石川郡北大伴村　添上郡南新町
　　全區博勞町二丁目　全郡寛弘寺村　全郡登大路町
　　　　　　丹北郡東代村　全郡北川畑町

三日　島下郡小坪井村　全郡東大塚村　葛下郡田井村
　　南區安堂寺橋通三丁目　堺區材木町東二丁　若江郡岩田村　石川郡新堂村　添上郡横田村
　　北區老松町三丁目　全區吾妻橋通二丁　古市郡西浦村　十市郡倉橋村
　　西成郡大仁村　澁川郡顯正寺新田　葛上郡西松本村
四日　東區本町三丁目　堺區新在家町東一丁　志紀郡道明寺村　全郡柏原村
　　全區唐物町二丁目　全區甲斐町東四丁　高安郡垣内村　葛下郡大屋村
　　全區北濱四丁目　大鳥郡下村　若江郡萱振村　全郡穴虫村
　　住吉郡喜連村　茨田郡横堤村　添上郡東ノ坂町
　　全郡桑津村　全郡對馬江村　全郡下三條町
　　豐島郡東市場村　交野郡私部村
五日　堺區櫻ノ町西二丁　丹南郡平尾村　山邊郡岸田村
　　大鳥郡福田村　澁川郡柏田村

七月六日	西區靱上通二丁目	堺區市ノ町西一丁	石川郡南大伴村	添上郡中御門町
	仝區北堀江裏通一丁目	仝區南旅籠町東一丁	澁川郡永和村	山邊郡合場村
	南區安堂寺橋通一丁目		茨田郡上島頭村	十市郡味間村
	東成郡腹見村		仝郡神田村	高市郡車木村
	住吉郡松原新田		讃良郡御供田村	葛上郡今住村
七日	西成郡新在家村	堺區中ノ町	志紀郡弓削村	葛下郡大橋村
				廣瀬郡百濟村
	東成郡善源寺村	泉郡松尾寺村	丹南郡樫山村	平群郡北嘗田村
	仝郡森村	仝郡南王子村		式上郡粟殿村
	仝郡林寺新家村			宇陀郡赤埴村
	仝郡林寺村			十市郡千代村
	島上郡山崎村			高市郡秋吉村
八日	住吉郡杉本新田	堺區材木町東一丁	錦部郡長野村	宇陀郡福知村
	島上郡野田村	大鳥郡高石北村	丹北郡高木村	
		泉郡長非村	河內郡松原村	
			若江郡別宮村	

九日	西區立賣堀北通三丁目	堺區少林寺町西一丁	河內郡豐浦村	
	西成郡六軒屋新田	大鳥郡新村		
	住吉郡我孫子村			
	豐島郡神田村			
十日	東區淡路町二丁目	大鳥郡金口村	八上郡金田村	添上郡長引村
	西成郡池田新田	泉郡上代村	丹南郡關茶屋新田	山邊郡吉田村
	能勢郡山邊村	日根郡鶴原村		式上郡脇本村
				仝郡黑崎村
十一日	西區靱北通一丁目	泉郡池田下村	讃良郡中垣內村	添上郡般若寺村
	東區島町一丁目	仝郡唐國村		式上郡芝村
	仝區今橋四丁目	日根郡男里村		式下郡八尾村
	仝區備後町一丁目			十市郡大垣村
				高市郡中曾司村
				葛下郡北藤井村

七月十二日

	堺區北旅籠町西一丁	讃良郡蔀屋村
	仝區九間町東三丁	仝郡高宮村
	仝區宿屋町東二丁	
	仝區宿屋町西一丁	
十三日	東區高麗橋三丁目	葛下郡東室村
	東成郡片江村	日根郡堤村
	島下郡々村	吉野郡井戸村
	仝區大町東四丁	八上郡長曾根村
	仝區南半町西一丁	添下郡賓來村
	豐島郡麻田村	十市郡新口村
		仝郡下村
		仝郡淺古村
十四日		高市郡出村
	堺區甲斐町東二丁	古市郡飛鳥村
	仝區新在家町西一丁	丹南郡草尾新田
	大鳥郡上石津村	
	南郡神須屋村	
十五日	東區和泉町二丁目	堺區市ノ町東一丁
	島上郡梶原村	丹南郡黒山村
	仝區飛野町東六丁	炎田郡野口村
	豐島郡福井村	大鳥郡土師村
		南郡森村
		日根郡下尾屋村
十六日	住吉郡平野馬場町	堺區宿院町東三丁
		大鳥郡伏尾村
十七日	東區農人橋詰町	堺區柳ノ町東二丁
	島下郡東村	仝區戎ノ町東三丁
		泉郡府中村
十八日	西成郡平尾新田	堺區九間町東二丁
	豐島郡新稻村	仝區吾妻橋通四丁
		大鳥郡岩室村
		高市郡忌部村
		葛下郡當麻村
		山邊郡守目堂村
		十市郡豐田村
		高市郡土橋村
		仝郡四分村
		葛下郡今里村
		添上郡上三條町
		仝郡神殿村
		添下郡木庄村
		十市郡常盤村
		仝郡吉備村
		式下郡大木村
		宇陀郡萩原村

七月十八日

	大鳥郡北花田村	
	泉郡内田村	
	仝郡二田村	
	日根郡樫井村	
十九日	住吉郡村上新田	堺區柳ノ町東一丁	若江郡友井村	添上郡西新在家町
	豐島郡中ノ島村	南郡大町村	澁川郡北蛇草村	添下郡車町
		仝郡下松村		十市郡北八木村
		仝郡新井村		
二十日	東區淡路町一丁目	堺區中ノ町西二丁		添下郡材木町
	仝區伏見町一丁目	大鳥郡奥村		山邊郡萱生村
	西成郡小島新田	南郡貝塚中ノ町		十市郡高田村
		日根郡窪田村		仝郡上ノ宮村
				仝郡木原村
				葛下郡北道穗村
廿一日	住吉郡湯屋島村	大鳥郡家原寺村	石川郡桐山村	高市郡根成柿村
		南郡白原村	丹南郡南余部村	葛下郡染野村

廿二日	西區立賣堀北通五丁目	泉郡伏屋新田	古市郡譽田村	添下郡二名村
	東區道修町一丁目		丹北郡立部村	山邊郡西井戸堂村
	仝區北渡邊町			十市郡生田村
廿三日	豐島郡岡町村	泉郡和氣村	志紀郡北條村	仝郡阿部村
		南郡貝塚近木町		仝郡西新堂村
		日根郡小垣内村		
廿四日		堺區材木町西二丁	交野郡田口村	高市郡田中村
		泉郡助松村		
廿五日	東區南本町二丁目	堺區戎ノ町東五丁	八上郡中村	廣瀨郡萱野村
	仝區道修町五丁目	仝區榮橋通二丁	河内郡額田村	平群郡谷田村
		大鳥郡樫村		式下郡新屋敷村
		泉郡小田村		十市郡八井内村
		仝郡觀音寺村		仝郡石原田村
		仝郡一條院村		忍海郡忍海村
		仝郡箕形村		

七月 廿六日 西區鞆北通四丁目 大鳥郡菱木村 古市郡碓井村 添上郡雜司村
豐島郡北在家村 仝郡豐田村 丹南郡池尻村 仝郡小川町
仝郡南蘇木村 泉郡今在家村 澁川郡澁川村 式上郡外山村
日根郡中小路村 茨田郡赤井村 宇陀郡小附村
十市郡太田市村
高市郡小房村
葛上郡櫛羅村
忍海郡山口村
廿七日 東區高麗橋一丁目 添上郡花園町
東成郡大今里村 志紀郡南木本村
式上郡萱森村
十市郡出垣內村
高市郡吉井村
仝郡觀音寺村
吉野郡藥水村
廿八日 西區高砂町二丁目 大鳥郡大鳥村 古市郡廣瀨村 廣瀨郡西穴閤村
東區伏見町五丁目 泉郡黑鳥村 交野郡船橋村 式下郡八田村

住吉郡北加賀屋新田 日根郡野田村 仝郡海知村
仝郡鳥取中村 葛上郡竹田村
葛下郡良福寺村
廿九日 東區內淡路町一丁目 堺區錦ノ町西一丁 丹南郡茱萸木新田 山邊郡荒蒔村
仝區今橋三丁目 泉郡寺田村 丹北郡津堂村 式上郡豐前村
西成郡百島新田 日根郡市場村 若江郡刑部村 十市郡西ノ宮村
仝郡中小坂村
三十日 島上郡服部村 堺區櫛屋町東四丁 添上郡北風呂町
南郡箕土路村 式下郡鍵村
仝郡摩湯村 十市郡內膳村
高市郡粟原村
葛下郡長尾村
卅一日 北區樽屋町 南郡小瀨村 志紀郡小山村
島上郡赤大路村 仝郡天王寺屋新田 山邊郡備前村
丹南郡我堂村 十市郡膳夫村
仝郡一津屋村 仝郡谷村

七月卅一日			
八月一日	東區平野町一丁目		高市郡八木村
	仝區平野町四丁目		添下郡上村
	北區東堀川町		高市郡四條村
	西成郡堀村		葛上郡南十三村
	島下郡味舌上村		
	仝郡佐保村		
	豐島郡少路村		
	仝郡原田村		
二日	西區靱上通三丁目	堺區櫻ノ町西一丁	若江郡成法寺村
	仝區阿波堀通二丁目	仝區綾ノ町	葛下郡王寺村
	北區北森町	仝區寺地町西一丁	仝郡辨ヶ庄村
	仝區堂島濱通三丁目	泉郡井口村	
	西成郡出來島新田	仝郡坪井村	
	仝郡中口新田	日根郡兎田村	
三日	東成郡猪飼野村	大鳥郡土生村	石川郡中村
			添下郡堺町

		泉郡若樫村	安宿部郡丹明村
		南郡名越村	丹北郡岡村
四日	東區横堀四丁目	堺區神明町東二丁	
	島下郡小路村	仝區九間町	
		大鳥郡上村	
五日	西區阿波坐下通一丁目	堺區北半町	丹北郡別所村
	仝區幸町通三丁目	大鳥郡舩堂村	交野郡坂村
	北區老松町一丁目	日根郡深日村	讃良郡砂村
六日		大鳥郡檜尾村	若江郡川俣村
		仝郡大庭寺村	澁川郡鍛作村
		日根郡七山村	茨田郡岡新町村
七日	西成郡十八條村	堺區中附洲新田	志紀郡林村
		日根郡鳴瀧村	
		仝郡下出村	葛下郡狐井村
			宇智郡野原村

八月八日	豐島郡牛立村	日根郡小島村	丹北郡高見村
	仝郡古江村		
九日	東區安土町一丁目	堺區北半町西一丁	若江郡佐堂村
	島上郡萩庄村	日根郡畠中村	
十日		堺區神明町	丹北郡島泉村
	仝	仝區新在家町	澁川郡太子堂村
十一日	西成郡南方新家村	堺區戎ノ町東一丁	高市郡地黄村
	東成郡小橋村	仝區九間町西一丁	
	島下郡下穂積村	南郡荒木村	
	豐島郡伏尾村	仝郡稻葉村	
十二日	東區高麗橋四丁目	大鳥郡七道村	錦郡郡市村新田
	豐島郡内田村		交野郡寺村

十三日	東成郡千林村	堺區神明町西二丁	葛上郡小林村
	島下郡山田別所村	仝區甲斐町西四丁	添上郡北村
	仝郡小原村		仝郡椿井村
			高市郡市村
			葛下郡五位堂村
十四日	島上郡芥川村	大鳥郡田園村	添下郡南鍛冶町
	島下郡宿久庄村		式上郡上ノ庄村
			仝郡江包村
			葛上郡古瀬村
十五日	豐島郡萩江村	堺區大町西四丁	交野郡甲斐田村
	仝郡走井村	仝郡諸村	添上郡石打村
	島下郡西河原村		
	仝郡吉志部村		
十六日	住吉郡島村	茨田郡土居村	添下郡觀音寺町
	島下郡中城村		讃良郡北條村
十七日	西成郡南宮原村	南郡積川村	茨田郡燒野村

八月十七日	島下郡南村	日根郡久保村		
十八日		大鳥郡百濟村	茨田郡上馬伏村	添上郡誓多林村
十九日	東區北久寶寺町二丁目		丹南郡丹南村	添下郡柳裏町
		仝郡藤井村	茨田郡平池村	宇陀郡下品村
		茨田郡平池村	仝郡三井村	
二十日		仝郡三井村	讃良郡河北村	式上郡卷ノ内村
廿一日	西成郡西野新田	堺區櫛屋町東三丁		高市郡法華寺村
	島上郡西天川村			葛下郡平野村
廿二日		堺區少林寺町東一丁		十市郡滿田村
廿三日	豐島郡長島村	堺區寺地町		
廿四日	東區本町一丁目		石川郡山中田村	高市郡見瀬村
			若江郡西岩田村	
廿五日	西成郡南大道村	堺區新在家町西四丁		高市郡洞村
	豐島郡木部村			葛下郡匹田村
	仝郡寺內村			

廿七日		堺區戎ノ町	丹南郡菅生村	
廿八日	住吉郡柴谷新田	南郡西大路村		
		大鳥郡富藏村	茨田郡金田村	山邊郡兵庫村
三十日	豐島郡下澁谷村			葛上郡櫛原村
				葛下郡上里村
卅一日				山邊郡大野村
九月一日		泉郡伯太村	丹南郡丈六村	
			若江郡八尾木村	
二日				平群郡梨本村
三日	西成郡布屋新田	堺區大濱通三丁	澁川郡大蓮村	葛上郡國手村
		仝區櫛屋町西一丁	茨田郡高柳村	
			仝郡中振村	
四日	島下郡馬場村	大鳥郡赤畑村	志紀郡北木本村	高市郡平田村
		日根郡北野村		
五日				添下郡齊音寺村
七日			澁川郡太平寺村	葛下郡別所村

九月八日　東區廣小路町　堺區市ノ町西二丁　讃良郡淸瀧村　高市郡醍醐村
仝區熊野町東三丁　葛上郡三室村
日根郡波有手村
九日
十日　住吉郡堀生村　堺區有院町西三丁　丹北郡東瓜破村　平群郡五百井村
仝區寺地町西二丁　山邊郡福智堂村
大鳥郡八田村
十一日　島上郡鵜殿村　堺區南半町東一丁
十二日　東成郡天王田村　堺區櫛屋町　廣瀨郡大野村
能勢郡吉川村　十市郡多村
高市郡新堂村
仝郡雲梯村
十三日　西成郡小松村　日根郡黑田村　葛上郡大谷村
葛上郡三室村
添上郡菱屋西新田　添下郡筒井村
十市郡西竹田村
仝郡竹田村南方

十四日　住吉郡澤ノ口村　式下郡大安寺村
十五日　西成郡野中村　高市郡箸食村
住吉郡千体村　仝郡小槻村
丹南郡高松村
丹北郡括木村　式下郡安田村
交野郡春日村　仝郡金澤村
十六日　北區地下町　堺區宿院町西一丁　高市郡東坊城村
仝郡錦ノ町　仝郡繩手村
十七日　豐島郡芝村　仝區綾ノ町西二丁　石川郡東坂村　添上郡阿字万字町
仝區市ノ町東二丁　安宿郡郡片山村　添下郡矢田村
大鳥郡綾井村　若江郡新喜田新田　式下郡平田村
交野郡星田村　宇陀郡松山上新町
高市郡慈明寺村
十八日　堺區車ノ町西一丁　志紀郡市村新田　式下郡結崎村
丹北郡富田新田　仝郡今里村
十市郡十六面村

九月十八日		
十九日	東成郡岡村	堺區中ノ町西三丁
	仝郡東小橋村	
	島下郡片山村	
二十日	島下郡田中村	堺區綾ノ町西三丁
廿一日	島上郡古曾部村	
廿二日	西成郡小島古堤新田	日根郡吉見村
廿三日		
		丹北郡西瓜破村
廿四日		
		丹北郡川邊村
廿五日		大鳥郡高田村
		日根郡加治村
廿六日		丹北郡六反村

		高市郡木殿村
		葛下郡磯壁村
		仝郡寺田村
		山邊郡三本松村
		廣瀬郡疋相村
		式上郡東田村
		添上郡南城戸町
		十市郡南浦村
		添下郡柳町一丁目
		葛上郡竹ノ内村
		添上郡楢村
		十市郡池ノ内村
		山邊郡的場村
		式下郡爲川村南方

廿七日		
廿八日	西區立賣堀南通六丁目	
廿九日	堺區櫻ノ町	若江郡西堤村
三十日		
十月一日		
二日	堺區櫛屋町東一丁	
三日	西區薩摩堀西ノ町	
四日	住吉郡今林村	若江郡高井田村

		河内郡芝村
		十市郡出合村
		高市郡小山村
		澁川郡金岡新田
		十市郡木ノ本村
		仝郡上品寺村
		高市郡別所村
		十市郡金剛村
		添上郡石川村
		式上郡太田村
		式下郡小坂町
		十市郡下八釣村
		交野郡禁野村
		高市郡上居村

十月五日		十市郡南山村
六日		高市郡橘村
七日	堺區市ノ町西五丁	十市郡飯高村
	澁川郡吉松新田	式上郡大豆越村
八日		十市郡細川村
		式上郡辻村
九日		高市郡飛鳥村
	澁川郡南歌作村	
	讃良郡深野新田	
十日	島下郡鳥飼上ノ村	
	大鳥郡梅村	
十一日	仝郡野々宮村	廣瀬郡川合村
十二日	島上郡真七村	山邊郡嘉幡村
	堺區甲斐町西五丁	
十三日		
	泉郡森村	
十四日		讃良郡國松村
		山邊郡大塚村
		仝郡岩室村
十五日		式上郡草川村

十六日	豐島郡牧落村	石川郡太子村
十七日	島下郡道祖本村	若江郡新家村
		式下郡武藏村
		仝郡遠田村
十八日		仝郡西井上村
十九日	東區今橋一丁目	
		若江郡瓜生堂村
	西成郡出口村	
二十日		
廿一日	西成郡新家村	式上郡澁谷村
		日根郡橋本村
廿三日	堺區市ノ町東五丁	
廿五日		葛下郡笛堂村
廿七日		添下郡番條村
廿八日		山邊郡別所村
		十市郡下ノ庄村
三十日	堺區吾妻橋通三丁	
十一月一日	島上郡上田部村	
二日		添下郡外川村

十一月三日	島下郡鳥飼下ノ村		忍海郡西辻村
九日		茨田郡梶村	
十日	島下郡鵜ノ村		
廿五日	東區石町一丁目		

處務條件

本年流行ノ虎列拉病ハ府下未曾有ノ一大慘害ヲ呈出シ其經過ノ久シキ殆ント一周年ニ亘リ而シテ終熄ニ帰スル初期ヨリ病患ヲ統計スルニ一万九千七百九人（監獄囚同患者七十二名ヲ除ク）ニシテ内死亡一万五千九百六十八人ナリ此患者ノ總數ヲ以テ本年全府現住者ノ數一百七十万五千三百三拾一人ニ比例スレハ百人ニ對シ病患一人一分六厘弱ト做ル實ニ府民ノ不幸最モ過甚ナリト謂フヘシ茲ニ流行ノ序次ヲ摘述スレハ其病因タル客年流行時ノ餘燼全滅ニ至ラス延セテ今年ニ波及セシモノニシテ乃チ春暖ノ候ヲ候チ病芽ヲ萌動シ夏熱ノ期ニ花ミ大ニ瀰蔓猖獗ヲ極メシモ秋冷ニ伴ヒ稍萎靡ニ傾キ冬季ニ際シ衰凋シテ終ニ滅熄セリ其豫防及檢疫上施行ノ一斑ヲ約言スレハ當年四月十九日虎列拉病豫防部ヲ設置シ該委員ヲ命シ專ラ豫防及ヒ撲滅消毒等方法ヲ定メ鋭意事ニ從ヒ百方手ヲ盡スト雖モ氣候ノ温暖ナルニ乘シ病勢愈猛劇ニ渉リ汎ク全管ニ蔓布スルノ勢ヲ呈セリ因テ五月十五日虎列拉病豫防部ヲ更メ檢疫本部ト號シ尋ヒテ各警察署所在ノ地ニ檢疫支部又分署部内ニ該支部ノ出張所ヲ設ケ大ニ檢疫ノ事業ヲ擴張ス五月二十日府下ヲ虎列拉病流行地ト認定セラル爾後病狀益慘怛ヲ極ム此時ニ該リ天王寺及長柄ノ二避病院ハ屢患者ノ滿院ヲ告ケ依テ西成郡炭屋新田於テ郡區共用避病院（千島避病院）ヲ經營ス卽チ五

月十八日共工事ヲ始メ六月二日ニ於テ竣成ス即日該患者ヲ入院セシム然ルニ尚ホ各院ノ頻リニ滿員ヲ呼ヒ爲メニ全郡清瀾村(心眼寺)(興德寺)國分寺村(國分寺)及ヒ南長柄村(鶴滿寺)等諸村ニ在ル寺院ヲ一時假避病院ニ充用シ而メ全郡本庄村ニ郡區共用避病院(本庄避病院)又東成郡天王寺村字筆ケ坂ニ區部專用避病院(桃山避病院)ヲ新築ス是レ本年建築ノ避病院ニシテ桃山ノ如キハ就中結構ノ完備ヲ得タルモノトス乃チ本庄ハ此歲六月二十六日起工シ七月十四日ニ成功ス桃山ハ七月十五日ニ斧斤ヲ初メ八月十八日ニ至リ落成ス孰レモ其竣功ヲ俟テ直チニ開院ス茲ニ於テ府下屈指ノ醫師ヲ聘シ各避病院長ヲ命シ而メ檢疫醫調劑生書記及ヒ事務掛等ヲ置ク六月十日清潔法規則ヲ創定シ本年發生セシ患家及不潔ノ屋舍ニ向ヒ大ニ之ヲ實施ス其戸數惣計三万有余ナリ七月廿八日ニ至リ病威少シク衰色ヲ呈シタルニ據リ諸興行特許內規ヲ定メ寄席觀物場ノ構造ニ修繕ヲ加エシメ衛生上無害ト認ルモノハ該則ヲ遵守セシメ而メ其興行ヲ許可セリ日アリテ演劇場モ亦此轍ニ倣フ將タ西成郡天保町ニ於テ熱氣消毒所ヲ建設シ內務大臣ノ允可ヲ得テ古着襤褸及古綿等消毒法ヲ施行シ其證票ヲ受ケタルモノニ限リ輸出入ヲ特許シ尙ホ他府縣ヘ此旨ヲ預報ス今ヤ流行時ニ中シ斯ク特許ノ令ヲ布設セシ所以ハ既ニ病勢ノ退縮ヲ認ムルト去ル五月二十日流行地ト認定セラレシ以後業ニ一百數十日ヲ曠過シ停止ニ係ル營業者ハ往其活路ニ昏迷シ日夜解禁ノ愁訴飢餓窮迫ノ狀態實ニ默視爲シ能ハサリシトニ因ル十二月二日此日府下流行地ヲ解除セラル今此訓令ヲ受クルトハ既ニ數日新患發生スル無カリキ同月四日ニ至リ檢疫各支部ヲ廢止ス此日禁令等ニ係ル布達及府令等ヲ廢撤ス然レトモ古着襤褸ノ如キハ本年流行地ト認定セラレシ府縣ヨリ輸入スルモノ又府下ヨリ他方ヘ輸出スルモノニシテ病毒附着ノ眞アリト認ムルモノハ必ス熱氣消毒所ニ於テ消毒法施行シ輸出入ヲ許ス仝日四區及接續郡町村ノ溝渠大浚渫ノ令ヲ發ス同月廿五日檢疫本部ヲ廢シ殘務ハ衛生課ニ於テ處辨セシム茲ニ於テ本年該患者アリシ家ニシテ曩ニ(本年六月)清潔法施行セサリシ屋舍及ヒ不潔ノ家屋或ハ發日清潔法施行後ニ於テ患者發生セシ家屋等ニ對シ特ニ清潔法實施ノ方法ヲ設定シ本府ニ清潔事務所ヲ設ケ各警察署ト一致施行爲サンコトヲ企圖ス而レトモ今ヤ歲月新陳代謝ノ時期ニ際スルカ故ニ來ル一月十日ヲ俟チ着手センコトヲ期定ス則チ當初ヨリ實施セシ事務ノ要件ハ順次ヲ逐ヒ別紙ニ抄錄シ併セテ伺指令其他布達告示等ヲ蒐輯ス尤モ細微ノ條件ハ之レヲ省畧ス

施行ノ要領

明治十九年四月十九日府廳内ニ虎列拉病豫防部ヲ設置シ衛生課員及警察官等若干名ヲ以テ該委員ニ充テ且大阪四區及接續郡ニ關スル各警察署ノ巡査並所屬郡區役所ノ吏員ヲ以テ組織シ此範圍内於テ虎列拉疫ヲ發生セシトキハ主治醫ノ報告或ハ患家ノ急報ニ應シ該家ニ臨檢シ豫防消毒執行ハ勿論其他患者ヲ避病院ニ入院セシメ又死屍火葬ノ措置並患家厠圊汲除ノ監査仝井水浚渫其他患家ノ交通遮斷等總テ該病ニ係ル事務ヲ辨理セシム

但警部及巡査ハ正服佩劍ヲ撤シ齊シク預防服（通常洋服）ヲ着用セシム其因由ハ乃チ患家於テ警官ノ威嚴ヲ嫌忌スルノ陋習アルカ故ニ可及的姿聲ヲ穩和ニシテ事狀ヲ隱匿ナカラシムルヲ要スレハナリ

同月二十日　自今虎列拉病者死跡及入院跡等ハ三日間交通ヲ遮斷セシメ巡査ヲシテ門戸ニ立番セシム

同月廿一日　醫師ニシテ吐瀉兼發ノ病者ヲ診察シタルトキハ速ニ其筋ヘ屆出ツヘキ旨ヲ布達ス

同月廿四日　吐瀉アル患者ヲ他ニ移轉セントスルトキハ最寄警察署ヘ屆出ヘキ旨ヲ布達ス

此日大坂四區及接續町村定期溝渠浚渫ノ實施ヲ始ム

同月三十日　吐瀉アル病ニ罹リ醫療ヲ受クル能ハサル貧困者ハ本府救濟規則ニ比準シ醫師診察料及藥價ヲ支給スベキ旨ヲ布令ス

五月一日　巡査立番ハ自今患者自宅療養スル患家ニ限リ執行セシム

同月八日　大坂四區及接續郡各川筋ニ停泊スル船舶内於テ該病ヲ發スルトキ川中ニ吐瀉スヘキ虞アルヲ以テ各川トモ下流ニ退泊セシメ入港船舶ハ貨物ノ揚卸中停繫ノ時限ヲ定メ之ヲ畢レハ直ニ下流ニ復シ停繫セシムルノ法ヲ定メ取締ヲナス

同月十五日　府下虎列拉病漸次流行ノ兆アルヲ以則チ豫防部ノ組織ヲ更ヘ檢疫本部ト改稱ス尋テ大坂四區及天王寺曾根崎水上枚方等各警察署所轄内ニ各檢疫支部或ハ出張所ヲ設ケ豫防消毒等一切ノ事務ヲ管理セシム

此日神佛祭禮開帳等ノ爲メ人民ノ群集スルヿヲ停止ス

同月十八日　堺八尾地方ニ於テ該病續發ナスニ據リ各檢疫支部ヲ置キ傳法、安治、尻無等ノ河口ニ各水上檢疫支部ノ出張所ヲ設ク

同月十九日　劇場寄席其他人ノ群集スル場所ノ厠圊ハ自今一日三回以上防臭藥ヲ撒布シ專ラ清潔法ヲ施行セシム

此日西成郡國分寺村國分寺ヲ假リニ避病院ニ充用シ長柄避病院在院患者（天然痘）ヲ之ニ移シ而シテ長柄ニ虎列拉患者ヲ入院セシム又當港各漁船會社

等ヘ船舶中乘客等於テ虎列拉病發生セシ節取扱方法ヲ達ス

同月二十日　本日府下ヲ虎列拉病流行地ト認定セラル依テ自今古着及襤褸ヲ他ノ健康地ニ輸送スルヿヲ禁ス

此日奈良ニ檢疫支部ヲ設ク

同月廿一日　自今飲食店旅籠屋等凡ソ人ノ出入頻繁ナル家屋内ニ在テ虎列拉患者發生セシトキハ死亡全治又ハ入院跡ト雖モ三日間交通遮斷ヲ執行セシム

同月廿二日　住吉郡平野郷ニ八尾支部ノ出張所ヲ設ク

同月廿四日　此日住吉郡長峡町ニ天王寺檢疫支部出張所ヲ置ク

同月廿五日　本日ヨリ劇場及寄席等ノ諸興行ヲ停止ス又醫師ニ於テ虎列拉病者ヲ診斷シタルトキハ不取敢口頭或ハ簡略ノ書面ヲ以テ檢疫本支部警察根分署其他戸長役場等ヘ便宜報告スヘキ旨ヲ布達ス

同月廿七日　吐或ハ瀉アル患者ハ本人親屬ノ内ヨリ其最寄ノ檢疫支部同出張所警察署分署其他戸長役場等ヘ速ニ屆出ツヘキ旨ヲ布令ス

此日漁船ヘ醫師可爲乘組旨ヲ各漁船會社其他漁船持主等ヘ示達ス

同月卅一日　内務大臣訓令ニ係ル虎列拉病豫防心得書ヲ各郡區役所及戸長役場等ニ頒布ス

六月二日　西成郡炭屋新田ニ新築スル避病院ハ本日落成ニ付即日開院シ虎列拉患者ヲ入院セシム本院ヲ稱シテ千島避病院ト云フ

此日添下郡々山柳町四丁目ニ郡山檢疫支部ヲ設置ス

同月七日　式上郡三輪ニ葛上郡御所ニ各檢疫支部ヲ設置ス

此日十市郡笠神村(舊穢多村)一局部ニ蔓延ノ勢アルニ付其交通ヲ遮斷ス

同月十日　清潔法規則ヲ創定シ本年虎列拉病患者發生セシ屋舍幷ニ近接不潔ノ家屋等ニ於テ實施ス

同月十四日　南郡岸和田ニ檢疫支部日根郡佐野村ニ該支部ノ出張所ヲ設ク

此日日根郡佐野村(字新町)一局部ノ交通ヲ遮斷ス

同月十五日　虎列拉病流行中古着襤褸及紙屑古綿等ノ輸出入ヲ停止ス

處更ニ古着襤褸及紙屑古綿等ノ輸出入ヲ禁止タル

同月十六日　若江郡西郡村(舊穢多村)一局部ノ交通遮斷ヲ執行ス

同月十七日　府立病院長吉田顯三ヲ天王寺ニ府立醫學校一等教諭吉益政清ヲ千島ニ開業醫高安道純ヲ長柄及清堀ニ各避病院長ヲ命ス

同月廿一日　十市郡田原本ニ三輪檢疫支部ノ出張所ヲ設ク

同月廿二日　十市郡笠神村及日根郡佐野村(字新町)ノ二ケ所ノ交通遮斷ヲ解ク

同月廿三日　此日豐島郡池田警察署内ニ檢疫支部ヲ設ケ同郡岡町分署内ニ

同出張所ヲ置ク

同月廿五日　葛下郡三倉堂村ニ御所檢疫支部出張所ヲ設ク

七月三日　傳染病患者ニシテ避病院又ハ避病舍ニ入リテ療養スルモノハ其入院若クハ入舍ニ就キ要スル所ノ費用ハ勿論該家消毒及死屍送葬等ニ係ル費用共當分地方税ヲ以テ一切支辨スヘキ旨ヲ布達ス

同月五日　島下郡茨木ニ檢疫支部同郡吹田島上郡高槻ニ各茨木支部出張所ヲ設置ス

同月六日　石川郡富田林ニ檢疫支部ヲ設ク

此日若江郡西郡村ノ交通遮斷ヲ解除ス

同月九日　市街路次等ニ於テ虎列拉病頻發スル所ハ其近接居住ノ健康者ハ便宜最寄ノ寺院等ヘ隔離セシムルノ方法ヲ定ム

同月十日　不良ノ井水ハ虎列拉病發生ノ誘因ト爲ルヘキ虞有之ニ付此際特ニ試驗官ヲ派遣セシムヘキニ因リ試驗未濟ノ井水ニ於テハ速ニ檢査ヲ受クヘキ樣告示ス

同月十七日　西成郡本庄村ニ新築スル避病院ハ既ニ竣功セシニ付本日諸人ノ縱覽ヲ許シ尋テ翌日開院シ虎列拉患者ヲ入院セシム之レヲ本庄避病院ト號ス

同月廿四日　虎列拉病流行中大坂四區及ヒ接續町村ヲ限リ夜間十二時以後納涼船ヲ禁止ス

同月廿八日　停止中諸興行特許内規ヲ定メ寄席及觀物場ニ限リ相當官吏ニ於テ衛生上無害ト認ムルモノハ興行特許スヘキ旨ヲ布達ス

同月廿九日　天滿橋下流ニ於テ虎列拉病ノ排泄物ヲ投棄シ及汚穢物ヲ洗濯セシモノアルキハ其下流ニ在ル各橋欄中央ニ黄色ノ小旗ヲ掲颯スヘキニ付其掲旗中ハ漫リニ川水ヲ汲採使用ナスヘカラサル旨ヲ人民ヘ特報ス

八月四日　此日西成郡福村及十市郡北八木村各全部ノ交通ヲ遮斷ス

同月六日　醫師ニシテ自暴瀉ノ患者ヲ診察シタル件ハ本年四月當府甲第六十一号布達ニ準シ報告スヘキ旨ヲ布令ス

同月九日　生靈祭供物多クハ不消化物ニシテ該病因トナルヘキニ付此際供物等飲食ナスヘカラサル旨ヲ告諭ス

同月十二日　西成郡大野村及百島新田ノ交通ヲ遮斷ス

同月十三日　醫師ニ於テ虎列拉病者ヲ診察シタル件ハ速ニ其家人ヲシテ患者ヲ隔離シ且吐或ハ瀉アル患者ヲ診察シタル件ト雖モ豫防消毒法ヲ施行セシムヘキ旨ヲ告諭ス

同月十七日　西區内ハ方今該患者最モ多ク發生シ其誘因ヲ探究スルニ不良

ノ井水ヲ飲用スルモノ尠カラサルニ付澱川良水ヲ購需爲シ能ハサル細民ヘハ天滿橋上流又ハ嬉ケ鼻ノ河水ヲ汲酌シテ數日其各戸ニ配與ス

同月二十日　東成郡天王寺村字筆ケ坂ニ區部專用避病院ヲ新築セシニ此日竣成ヲ告クルニ付衆庶ノ縱覽ヲ許シ翌日開院シ虎列拉病者ヲ入療セシム而シテ本院ヲ桃山避病院ト稱ス

此日平群郡東安堵村字風根垣内ノ一部落(穢多村)ノ交通ヲ遮斷シ西成郡福村ノ交通遮斷ヲ解ク

同月廿一日　十市郡北八木村ノ交通遮斷ヲ解ク

同月廿三日　西成郡大野村及百島新田ノ交通遮斷ヲ解ク

同月三十日　喪家ニ於テ吊慰者幷ニ會葬者ヘ飲食物ヲ饗シ而シテ該病ヲ誘起スルノ列証少ナカラサルニ付各自注意方ヲ告諭ス

九月十日　平群郡東安堵村字風根垣内ノ一部落ハ虎列拉病全ク屏息セシニ由リ本日該交通遮斷ヲ解ク

此日西區本田貳番町九番地ニ雜居スル清國福建省福州府福清縣人陳道琪ナルモノ本日午前四時虎列拉病ニ罹リ死歿セシ處兵庫縣下全國人墓地ヘ埋葬相成度旨ニ因リ巡査ヲ以テ護送セシメ陸路挽車ヲシテ該縣ヘ傳遞ス

同月十四日　又西區本田二番町九番地ニ寄寓スル清國福建省福州府福清縣

人何貴々ナルモノ虎列拉病ニ罹リタル處避病院入療情願ニ任シ桃山避病院ヘ入院セシムルニ治療功ヲ奏シ同月廿五日ニ至リ全癒退院セリ

同月廿八日　古着襤褸及紙屑古綿等輸出入禁止アル處己ニ他府縣下病勢稍衰滅スルニ由リ其健康地ヨリ輸出セシ分ニ限リ府下ニ輸入スルコヲ許ス

同月三十日　大坂市街等各川筋ニ停繫シ又ハ新ニ入港スル船舶ハ孰レモ其川筋ノ流末ニ退下セシメタル處目下ノ病況ニテハ敢テ危險ノ虞アラサルニ因リ最前ノ布達ヲ廢止ス

此日天王寺避病院入院患者ヲ桃山避病院ニ移轉セシメ天王寺ヘハ難波避病院在院窒扶私患者ヲ入院セシメ難波及長柄ノ二院ヲ閉鎖シ清堀國分寺鶴瀧寺ハ一時仮設ノモノナルニ據リ各閉鎖ノ上其持主ヘ還付ス

十月一日　府下虎列拉病追日萎縮セシニ付民間販賣ニ供スル飲食物ニシテ衛生上有害ト認ムルモノハ投棄セシムル云々ノ布令ヲ解ク

同月七日　大坂商船會社始其他各漁船ニ醫員爲乘組ノ義曾テ當業者ヘ命達シ置タル處本日限リ該達ヲ廢止ス

同月九日　千島避病院ハ本日閉鎖ス

同月十五日　魚肉腐敗セシモノ又採後久キヲ經タル菌類ヲ食セサル樣告諭ス

同月廿七日　府下各警察署及分署外ニ設置アル檢疫支部及出張所ハ自今署內又ハ分署內ヘ移轉セシム

同月廿八日　停止中特許內規ヲ定メ神佛祭禮及開扉ノ爲メ人民ノ群集又演劇興行ニシテ衛生上無害ト認ムルモノニハ興行特許スヘキ旨ヲ布令ス

同月廿九日　西成郡天保町ニ於テ熱氣消毒所經營セシ處漸ク竣功シタルニ付內務大臣ヘ經伺ノ上古着襤褸及古綿紙屑等消毒ヲ實施シ其消毒濟証票ヲ受ケタルモノニ限リ輸出入スルヿヲ特許ス尤各府縣ヘ其旨ヲ豫報ス

十一月四日　本庄及桃山ノ避病院ハ入院患者減少スルニ由リ現在入院ノ患者ハ天王寺避病院ヘ移轉セシメ本庄桃山ノ二院ハ各閉鎖ス

十二月二日　本日內務大臣ヨリ府下流行地解除ノ旨訓令セラル

同月四日　此日檢疫各支部ヲ廢止ス又流行中檢疫上ニ關スル布達等ヲ廢撤ス然レモ古着襤褸等ノ如キハ病毒附着ノ虞アルカ故ニ本年同病流行地ト認定セラレシ府縣下ヨリ輸入スルモノ又府下ヨリ各地ヘ輸出スルモノハ流行中ト齊ク天保町ニ於テ熱氣消毒法ヲ實施シ証票ヲ受クルモノニアラサレハ輸出入ヲ許サス而シテ此日ヨリ大坂四區及接續町村ノ溝渠大浚渫ヲ實施ス

同月廿五日　檢疫本部ヲ廢止シ檢疫上ニ關スル殘務ハ第二部衛生課ニ於テ

取扱ハシム

此日天保町熱氣消毒所ヲ閉鎖シ古着襤褸等輸出入共總テ消毒施行ノ可ヲ止ム

衛生課虎列拉豫防部事務規程

第一條　虎列拉豫防部ハ左ノ職員ヲ以テ組織ス

部長　一名　衛生課屬

課員　若干

警部　一名

區吏　四名　四區役所員一名宛充之

郡吏　二名　西成郡役所天王寺郡役所各吏員一名宛充之

巡査　若干

醫員　若干

第二條　部長ハ事ヲ課長ニ受ケ虎列拉患者發生ノ報告ヲ受クルトキハ郡區吏以下ナシテ該患者ノ家ニ臨檢シ專ラ豫防消毒法等ヲ處辨ナサシムルモノトス

第三條　課員郡區吏及巡査ハ事ヲ本課長及部長ニ受ケ專ラ豫防消毒法實施方ニ注意シ且庶務ヲ處辨スヘシ

第四條　醫員ハ事ヲ本課長及部長ニ受ケ該患者ヲ診斷シ或ハ死体ヲ檢案スルモノトス

第五條　課員郡區吏及醫員該患家ニ臨檢セシトキハ病狀其他詳悉實査ヲ遂

ヲ復命書ヲ作リ供呈ス可シ

第六條　豫防部員ハ四區幷接近郡村ニ發生スル虎列拉病ニ限リ臨檢シテ豫防消毒一切ノ事務ヲ專任ス可シ

檢疫處務條規

第一條　檢疫本部ハ管內傳染病流行ノ兆アルニ際シ之ヲ本廳內ニ置キ檢疫支部ハ傳染病流行ノ地ニ之ヲ開ク

第二條　檢疫本部ハ傳染病豫防消毒等一切ノ事務ヲ管理スルノ處トシ檢疫支部ハ本部ノ指揮ヲ受ケ豫防消毒等ノ事ヲ執行スルノ處トス

第三條　檢疫本部ハ左ノ職員ヲ以テ組織ス

委員長　一名　警部長之ニ充ツ

副長　一名　衛生課長之ニ充ツ

委員　若干　屬官警部同補府廳用掛ヲ以テ充ツ

雇　若干　府廳又ハ警察臨時雇ヲ以テ充ツ

檢疫醫長　一名　開業醫ヲ以テ充ツ

檢疫醫　若干　仝

第四條　檢疫支部ハ左ノ職員ヲ以テ組織ス

檢疫支部長　一名　警察署長ヲ以テ充ツ

委員　若干　郡區書記警部同補等ヲ以テ充ツ

檢疫掛　若干　巡査又ハ郡區役所雇ヲ以テ充ツ

檢疫醫　若干　開業醫ヲ以テ充ツ

第五條　委員長ハ事ヲ知事ニ受ケ副長以下ヲ指揮シ檢疫ニ關スル一切ノ事務ヲ管理ス

第六條　副長ハ職務長ニ亞ク長不在ナルトキハ其代理タルヿヲ得

第七條　委員ハ委員長ノ指揮ヲ受ケ各其分担ノ事務ニ從事ス

第八條　雇ハ事ヲ委員長以下ニ受ケ各雜務ニ從事ス

第九條　檢疫醫長ハ事ヲ委員長ニ受ケ病性ノ劇易檢疫ノ方法其他病理ニ關スル事項ヲ檢疫本支部詰醫員ニ限リ指示スル等醫學的ニ關スル事ヲ管理ス

第十條　檢疫醫ハ委員長及醫長ノ指揮ヲ受ケ診斷治療ニ關スル事務ニ從事ス

第十一條　檢疫支部長ハ事ヲ委員長ニ受ケ委員以下ヲ指揮シ豫防消毒檢疫ニ關スル事務ヲ執行ス

第十二條　委員ハ支部長ノ指揮ヲ受ケ各其主務ニ從事ス

第十三條　檢疫掛ハ支部長及委員ノ指揮ヲ受ケ豫防消毒ノ執行ニ從事ス

第十四條　檢疫醫員ハ支部長ノ指揮ヲ受ケ病性ノ鑑定治療其他醫務ニ從事ス

第十五條　本部ノ事務ヲ分ツテ左ノ如シ

檢疫掛

庶務掛

會計掛

第一項　檢疫掛ハ檢疫支部及避病院等ヲ巡視シ豫防消毒法ノ適否得失ヲ監査シ意見ヲ委員長ニ具申ス其具申スルニ至ラサルモノハ支部長ト協議シ臨機ノ取計ヲ爲スヘシ

第二項　庶務掛ハ部中ノ庶務ヲ整理シ統計報告紀事ヲ掌ル

第三項　會計掛ハ傳染病豫防費ニ關スル出納ヲ司リ用度一切ノ事ヲ整理ス

第十六條　檢疫支部ノ事務ヲ分ツ左ノ如シ

檢疫掛

庶務掛

第一項　檢疫掛ハ實地ニ臨檢シ豫防消毒ノ執行ニ從事ス

第二項　庶務掛ハ部中ノ庶務ヲ整理シ用度ニ關スル一切ノ事ヲ兼掌ス

避病院規則

第一章　構成

第一條　避病院ニハ左ノ職員ヲ置ク

（豫防部）（檢疫本部）出張員

巡査

醫員

調劑生

看病人

第二條　避病院內ニ左ノ三局ヲ置ク

庶務局

醫局

藥局

第二章　職務

第三條　（豫防部）（檢疫本部）出張員ハ左ノ職務ニ從事スヘシ

一　避病院ニ關スル一切ノ庶務ヲ處辨スルヿ

二　諸費ヲ收支スルヿ

三　看病人小使ノ進退ノ意見ヲ具シ（豫防部）（檢疫本部）ヘ申告スルヿ

四患者ノ出入及轉飯ヲ(豫防部)(檢疫本部)ヘ報告スルヿ

五院内ニ關スル諸般ノ取締ヲ爲スヿ

六看病人ヲ監督スルヿ

七看病人ニ於テ不都合ノ所爲アル乎又ハ患者ニ對シ不親切ノ所爲アルヲ認メタルトキハ之ヲ譴責シ其譴責再度ニ及フモ尚悔悟ノ狀ナキモノハ解雇スルヿ

第四條　巡査ハ左ノ職務ニ從事スヘシ

一死者及排泄物等運搬ノ節ハ途中ヲ護送スルヿ

二院内ニ於テ汚穢物燒却スルトキハ之カ監査ヲナスヿ

三犯罪者アルトキハ相當處置スルハ勿論其他不都合ノ所爲アルヲ見聞シタルトキハ其旨(豫防部)(檢疫本部)若クハ衛生課ヘ報告スヘシ

第五條　醫員ハ(豫防部)(檢疫本部)出張員及巡査ト氣脈ヲ通シ左ノ職務ニ從事スヘシ

一患者ヲ診察治療シ死体ヲ檢案スルヿ

二患者ノ飲食物ヲ檢査シ之ヲ許否スルヿ

第六條　調劑生ハ醫員ノ指揮ニ從ヒ調劑ノヿニ從事スヘシ

第七條　看病人ハ(豫防部)(檢疫本部)出張員及巡査ノ指揮ヲ受ケ左ノ職務ニ從事スヘシ

一患者ニ直接シ諸般ノ使役ニ從事スルヿ

二醫員ノ指示ニ依リ患者ノ藥用ヲ專任スルヿ

三患者ニ對シ不都合又ハ不親切ノ所業爲スヘカラサルヿ

四(豫防部)(檢疫本部)出張員又ハ巡査ノ許可ナクシテ猥リニ看病室ヲ離ルヘカラサルヿ

五病室ハ時々掃除ヲ爲シ清潔ヲ旨トスルヿ

六自ラ飲食シ難キ患者ニハ每食時ニ必ス之ヲ介助スヘシ尤モ食シ終ヲハ食器ヲ取除ケ決シテ室内ニ置クヘカラス

七患者付添介抱人ニ於テ不正ノ行爲アルトキハ直ニ庶務局ヘ屆出ツ

八休息所ニ於テ高談雜話等ヲナスヘカラス

九患者ヨリノ物品ヲ受クヘカラス

十看病人ノ常食物ハ其都度醫員ノ點檢ヲ受ケ然ル后之ヲ喫食スルヲ得

但常食外ノ食品ト雖モ醫員ノ許可ヲ受クヘシ

第三章　患者取扱及死屍處分心得

第八條　入院患者取扱及ヒ死屍ノ取片付方ハ總テ鄭重ニシ醫療向消毒隔離法等ハ一層注意スヘシ

第九條　虎列拉患者ノ入院セルトキハ其國郡區町村番地族籍職業氏名年齡病

症等ヲ入院患者名簿ニ記入シ病性ノ劇易及ヒ男女ノ別ニ依リ其病室ニ入ラシムヘシ

第十條　看病人ハ重症ノモノ二人輕症ノ者四人快復期ニ赴キシモノニハ六人各一人ノ割合ヲ以テ之ヲ附シ適宜交代セシムヘシ

第十一條　患者ノ嚇戚又ハ交誼アルモノ見舞或ハ死者ヲ吊センコトヲ望ムトキハ之ヲ許スヘシ

但病室内ニ於テハ一切飲食ヲ禁シ吐瀉物ニ觸レサル樣注意シ出院ノ節ハ必ス消毒法ヲ行フヘシ

第十二條　前條ノ者看病ヲ爲サンコトヲ乞フトキハ之ヲ許スト雖モ其員數ハ制限スルコトアルヘシ

第十三條　患者若シ死亡シタルトキハ速ニ屍室ニ移スヘシ

第十四條　患者病況危篤ト認ムルトキハ速ニ戸長又ハ其家族ニ通知スヘキモノトス若シ死亡セシトキハ入棺セサル前ニ其死体ヲ家族ニ示スヘシ

但通知後十二時間ヲ過ルトキハ之ヲ棺ニ收メテ相當ノ處置ヲナスヘシ

第十五條　旅人等ニシテ前條ノ手續ヲナス能ハサル場合ニ於テハ其罹病地ノ戸長立合ヲ要シ其事實ヲ証明セシメ然シテ原籍ノ戸長ヘ照會スヘシ

第十六條　前條ノ手續ヲ終ハタル後遺骨ヲ要シ火葬場ニ送ルヘシ

但遺骨ヲ保存セシメ請求者ニ下附スルモノトス

第十七條　入院患者又ハ死亡全治等ノモノ有之節ハ前日分ヲ翌朝迄ニ（豫防部）本部（檢疫）ヘ報告スヘシ

第十八條　入院患者ノ携帶品ハ消毒法施行ノ上事務所ニ預リ置品目帳ニ記載シ退院等ノ節本人又ハ家族ヘ引渡シ其帳簿中ヘ受取ノ証印ヲ取リ置クヘシ

第十九條　死体ハ可成他ノ患者等ノ目ニ觸レサラシムヘシ

第四章　消毒品取扱心得

第二十條　消毒セントスル物品ヲ患者ト共ニ送付シ來ルトキハ之ヲ受取其所有者ヘ品名數個ヲ記シタル領收証書ヲ渡スヘシ

第廿一條　消毒シテ再用スヘキモノト認ムルトキハ十分消毒法施行ノ上最前渡シタル領收書ト引換還付スヘシ

第廿二條　消毒法ハ豫防心得書第六十二條以下第七十九條迄ヲ適宜參酌シテ之ヲ施行スヘシ

第廿三條　消毒法ハ總テ叮嚀ナルヲ要スルヲ以テ始終注意シテ從事スヘシ

尤其疑難ニ係ルモノハ醫師ニ質議シ十分行屆樣取扱フヘシ

第廿四條　入院患者及ヒ入院中死亡セシモノヽ物品燒却豫防心得第五十六

條及第六十一條ニ據リ行フモノトス又消毒等ハ第廿四條ノ例ニ準スヘシ

但備附品ノ燒却ハ委員長ノ決ヲ採ルモノトス

第廿五條　入院患者ノ内自費ヲ以テ他醫ノ治療ヲ受ケンヿヲ乞フモノアル時ハ之ヲ許ス可シ

但該醫出入ノ際消毒法ヲ施行スル等其他諸般ノ取締向ハ普通人ト異ナルヿナカルヘシ

第廿六條　前條ノ場合ニ在リテハ急變應用ノ外詰合醫員ニ於テ投藥スヘカラス且轉飯屆ハ治療醫ニ於テ爲サシムヘシト雖モ退院セシムルハ詰合醫員ノ診斷ニ任スヘシ

但患者表ニハ其數ヲ欄外ニ附記シ他醫ノ施療ニ係ル旨ヲ明記スヘシ

明治十九年五月本府甲第七十三号布達諸船舶流末ニ下ケ繫泊セシムルニ付其取扱如左

水上警察署取扱手續

一市街及接續町村川々ニ於テ現今乘組人アル停繫船ハ安治川木津川尻無川ノ入津料取立所ヨリ下流傳法川ハ備前橋下流ニ引下シムルヿ

一安治川木津川尻無川ノ三ケ所入津料取立所ニ巡査ヲ派出セシメ入津ノ船舶有之節ハ其積荷ヲ陸上ケスヘキ場所及相當ト見認ル陸上時間ヲ定メ左ノ雛形認可証ヲ交付ス可シ

但積荷ヲ陸上シテ直ニ荷物ヲ積載セントスル者モ尚本文ニ同シ

一陸地ヨリ荷物ヲ積載セント申出ルモノアルトキハ其場所及相當ト見認ル時間ヲ定メ第二項ノ例ニ從ヒ認可証ヲ交付ス可シ

認可証

何國何區郡何町村

何誰持船

船頭　何誰

船名　何丸

一陸揚場所

何町何丁目濱

一積荷場所　同
一許可シタル時間　自何月何日午前何時　至同　同　午後何時
右認可候事
明治十九年何月何日　官氏名

虎列拉病頻發ノ箇所健康者隔離處分法

第一條　裏長屋又ハ不潔ノ箇所ニ於テ虎列拉病頻發シ四隣近傍ヘ蔓延ノ勢アルトキハ檢疫官ニ於テ所轄郡區長若クハ戸長ニ通牒シ其隔離ヲ要スル四隣若クハ一棟モノニ對シ消毒法ヲ施シ便宜寺院等ヘ移シ隔離セシムヘシ

第二條　前條ノ場合ニ於テハ醫師ヲシテ診察セシメ下痢アルモノハ移轉先ニ於テ別室ニ隔離シ且厠圊ヲ別ニス可シ

第三條　健康者ヲ移轉シタル跡ノ家屋ハ悉皆消毒法ヲ執行ス可シ

第四條　健康者隔離後一週間ハ元ノ住所ニ皈リ又ハ他ノ家屋ニ住居スルヲ許サヽルヘシ

第五條　前條ノ期限ヲ過キタルモノハ後一週間中ニ元ノ住居ヘ皈住又ハ他ノ家屋ヘ移轉セシムヘシ

第六條　檢疫官ニ於テ健康者隔離跡家屋ノ住居ヲ禁シ或ハ改造ヲ命スヘキモノト認ルトキハ長屋建築規則ノ附則ニ準據シ委員立會ノ上處分方ヲ具狀スヘシ

演劇興行特許內規

演劇場特許內則

虎列拉病流行中諸興行ヲ許可スルモノハ左ノ各項ニ該當スル場所ニ限ル

一看客席両側ニ相當ノ空地ヲ有シタル場所ハ其両側ノ面積十分ノ五以上ノ窓ヲ設ケタルモノ若シ空地ヲ有セサル場所ハ風筒若クハ家根ノ上ニ鞠合ノ空氣窓ヲ設ケタルモノ

但風筒鞠合窓ハ客席両側ノ面積十分ノ五以上ニ該當スヘキモノ

一便所ハ棟ヲ分チ建設シタル場所

一看客ハ一疊敷ニ二人ノ割合ヨリ以下トス

一開場ハ午前六時ヨリ正午十二時迄午後六時ヨリ同十二時迄トス

一場內ニハ茶菓氷ノ外飲食物ヲ禁スルヿ

一場內ニ於テ茶菓氷ノ觸レ賣ヲ禁スルヿ

一茶菓氷ハ場內一定ノ箇所ニ於テ販賣セシムルヿ

御請書

一興行時間ハ午前六時ヨリ正午十二時マテ午後六時ヨリ同十二時マテヲ限

リ可申候事

二看客坐席ハ一疊敷ニ大人貳人小兒三人ノ割合ヲ爲致超過間敷候事

三場内ニテハ茶菓氷ノ外ハ決シテ飲食爲致間敷候事

四茶菓氷ト雖モ場内ニ於テ觸レ賣爲致間敷候事

五茶菓氷ハ場内一定ノ場所ニ於テ販賣爲致可申候事

六興行中ハ大小便所トモ幕明毎ニ防臭藥ヲ撒布シ精々清潔ニ掃除可致候事

七場内ニ於テ吐或ハ瀉アル患者ノアリタルトキハ直ニ所轄檢疫支部ヘ屆出掛官吏ノ出張ヲ待チ總テ其御指揮ニ遵ヒ可申尤モ其間看客ハ散亂セサル樣取締可仕事

八場内ニ於テ虎列拉患者アリタルトキハ解停ノ御達相成候迄興行不仕事

九場内ニハ患者隔離室及消毒室幷浴湯ヲ設ケ置可申事

十場内ニハ兼テ結晶石炭酸及粗製石炭酸各三磅幷ニ硫黄花五斤以上ヲ備置キ可申事

十一前項ノ外總テ掛官吏ノ御指揮相受ケ可申候事

十二場内ハ常ニ清潔ニ掃除可致候事

今般特別ノ御詮議ヲ以テ私共演劇興行開場ノ義御節可相成候上ハ右各項堅ク遵守可致ハ勿論若シ一項ニテモ違背致候節ハ直ニ停止被命候トモ一言ノ

申分無之候間此段謹テ御請仕候也

年　月　日

劇場坐主　何　誰　印

右取締　何　誰　印

某警察署宛

西成郡天保町熱氣消毒所施行方法

消毒施行法

(甲)

一瀉壓ハ六十磅ヨリ六十五磅迄ヲ持續シ消毒室ニ通スル瀉管ノ塞氣瓣ヲ全開シ置キ蛇管内ノ蒸餾水ハ毎三十分間ニ排泄シ五分時ヲ經テ之ヲ閉鎖スヘシ

古着消毒法

一架ニ鈎ルシ消毒スル分ハ消毒室ニ入レ閉扉後二十五分間又タ五枚以上ハ許サヲ一捆トナシ平列シタル分ハ一時三十分間ノ後チ開扉ス可シ尤モ之カ

開閉毎ニ監査員ノ檢定ヲ受ク可シ

襤褸古綿紙屑等消毒法

一此三品ノ消毒法ハ竹籠等ニ入レ閉扉後二時間ノ後チ開扉スヘシ

一消毒濟物品ニテ輸出品ニ係ル品ハ搆内ニ於テ荷造リヲナシ外包ニハ消毒濟ノ烙印送リ狀ニハ消毒所ノ朱印幷ニ監査員ノ檢印ヲ受ケ直ニ船積出港ス可シ

一輸入ニ係ル分ハ前項ニ依リ消毒ノ上消毒濟ノ烙印ヲ受ケ輸出地ヨリノ送リ狀ニ消毒所ノ朱印ヲ受ケ輸入ス可シ

甲号ニ記載スル消毒方法中未タ考究充分ナラサルモノアルハ畢竟事匆卒ニ出テ機具完備爲サヽリシニ因ル爾後研究ノ末本紙乙号ノ如ク改良或ハ新法ヲ設ケ漸次之レヲ實行ス依テ此ニ追加ス

(乙)

濕熱消毒法

一古着五枚ヲ壹捆トナシ平列シタル分ハ十分時間十枚ハ二十分時間二十枚ハ三十分時間四十枚一時間滯團五枚ハ一時間ノ後開扉ス可シ尤前項共開閉毎ニ監査員ノ檢閲ヲ受ク可シ

襤褸紙屑消毒法

一襤褸紙屑消毒ノ機械圓錐ヲ捆身ニ挿入シ蒸氣導入ノ後十分時間以上ヲ俟チ監査員ノ檢閲ヲ受ク可シ

天保町熱氣消毒室内中央ノ熱度試驗表

閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		閉扉后中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗温器示ス處ノ熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間
午后五時五分	六十度	十一分間	百二度	三分
午前七時五分	四十度	十分間	百一度	九分
午前七時二十分	四十度	九分間	百二度	八分
閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		閉扉后中央ノ熱度百十度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗温器示ス處ノ熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間
午前七時卅五分	四十三度	十分間	百八度	六分
午前七時五十分	四十九度	八分間	百七度	六分
午前八時五分	四十五度	十分間	百七度	六分
午前八時二十分	四十五度	九分間	百七度	六分
閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		閉扉后古着五枚中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗温器示ス處ノ熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間

正午十二時	三十二度	一時十七分間	百二十度	十五分
午后二時二十分	六十二度	一時二十分間	百二十一度	五分
午后三時五十分	五十度	一時二十分間	百二十三度	五分
閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		閉扉后古着十枚中央熱度百度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗温器示ス處ノ熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間
午前十一時五十五分	六十度	閉扉后三時四十分ヲ經過スルモ百度ニ達セス時ニ前面ノ驗温器百二十度		四分
午后二時五十分	六十度	閉扉后三時五十分ヲ經過スルモ百度ニ達セス時ニ前面ノ驗温器百二十二度		五分
午前七時三十分	五十五度	閉扉后四時間ヲ經過スルモ百度ニ達セス時ニ前面ノ驗温器百二十三度		二十分

此試驗法ハ一箇ノ寒暖計ニ頭尾ヨリ白金線ヲ挿入シ(頭部ノ線ハ寒暖計百度ノ處ニ止メ)頭尾白金線ヨリ電氣ノ導線ヲ消毒室外ニ設置セル電池ニ通スルノ裝置ヲナシ寒暖計ヲ消毒室内ノ熱度昇ルニ應シ中央寒暖計中ノ水銀上昇シテ百度ニ達シ茲ニ挿入シタル白金線ニ附着スレハ鐘ヲ鳴ラシテ之ヲ報ス而シテ氣壓ハ六十磅ヲ持續シ(消毒室ニ通スル氣管ノ塞氣瓣ハ全開)蛇管内ノ蒸餾水ハ無間斷水管ヨリ之ヲ排泄セシメ熱氣室ノ開扉間ハ毎五分ト定メ施行シタルノ成績ナリ

第二試驗

閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		古着單物六拾枚ヲ鈎列中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗濕器示スノ處熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間	
午前十一時五分	六十五度	二十分間	九十六度		○
午前十一時四十九分	六十二度	十八分間	九十九度		○
正午十二時卅八分	七十五度	二十分間	百五度		十四分間
閉扉ノ時及前面驗温器ノ熱度		古着單物六拾枚ヲ鈎列中央ノ熱度百十度ニ達シタル經過時間及前面ノ驗温器示ス處ノ熱度		前面ノ驗温器百度ニ達シタル經過時間	
午后一時卅五分	七十六度	三十九分間	百十六度		十九分間
仝三時	七十五度	三十六分間	百十七度		十七分間
仝四時二十五分	七十七度	三十五分間	百十三度		十五分間

此試驗法ハ前ト異ナルヿナシトイヘトモ唯蛇管蒸餾水排泄口ヲ閉鎖シ時々排泄セシメタル迄ノ事ナリ

天保町熱氣消毒室乾濕熱度試驗比較表

中央驗温器熱度百度ニ達シタル經過時間	古着五枚重ヲ中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間		古着十枚重ヲ中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間	
乾熱	濕熱	乾熱	濕熱	乾熱

十一分時間	二分時間	一時十七分時間	五分時間	三時四十分時間ヲ經過スルモ達セズ	十五分時間
十分時間	三分時間	一時二十分時間	六分時間	三時五十分時間ヲ經過スルモ達セズ	十四分時間
九分時間	二分時間	一時二十分時間	五分時間	四時間ヲ經過スルモ達セズ	十五分時間

古着二十枚重ヲ中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間		古着四十二枚重ヲ中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間		古着六十枚ヲ釣ルシ中央ノ熱度百度ニ達シタル經過時間	
濕	熱	濕	熱	乾	熱
二十三分時間	五十分時間	五十分時間	二十分時間	二十分時間	二十分時間
二十二分時間	五十一分時間	五十一分時間	十八分時間	十八分時間	二十分時間
二十二分時間	五十一分時間	五十一分時間	二十分時間	二十分時間	二十分時間

此試驗ハ流壓六十磅ヲ持續シ消毒室ニ通スル氣管ノ塞氣瓣ヲ全開シ蛇管內ノ蒸溜水ハ排泄口ヲ閉鎖シ三十分時間毎ニ排泄セシメテ施行シタル成績ナリ

襤褸紙屑試驗成績

一流壓ハ六十磅ヲ持續シ消毒室ニ通スル氣管ノ塞氣瓣ヲ全開シ圓錐形ノ洞管ニ無數ノ小孔ヲ穿チタル鉄管ヲ捆紙屑ノ一捆ハ口經二尺五寸長四尺ニ挿入シテ蒸氣ヲ導入シ襤褸ハ十分時間ニシテ其外包攝氏寒暖計百度身達ス

古着襤褸等消毒輸出入之義ニ付伺

府下虎列拉病流行ニ付テハ客年御省甲第三十一号御達ニ依リ五月二十日ヲ以府下人民於テ古着及襤褸ヲ他ノ健康地ヘ輸送スルヿヲ禁シ又六月十五日ヲ以更ニ古着襤褸及紙屑古綿等之レヲ禁止候然ル處今般當業者及大阪四區該商取締ノ者連署別紙書面ノ通古着襤褸等消毒法施行ノ上輸出入取扱致度旨情願致候依テ篤ト事實調査ヲ遂ゲ候處該營業者及ヒ所屬ノ人口全管内ニ於テ概メ三万五千餘人内(古着襤褸營業者二万四千三百六十六人反古紙屑營業者一万六百四十四人)壹ケ年間輸出スル斤量凡五百九万六百五十九貫五十目内(古着襤褸ノ斤量四百九十七万五千七百五十貫目反古紙屑ノ斤量十一万五千〇九貫五十目此價格六十五万三千七圓八十三錢内(古着襤褸ノ價格六十一万八千九百七十五圓反古紙屑ノ價格三万四千三十二圓八十三錢)其商品ノ販路タルヤ汎ク各地方ニ亘リ古着襤褸ハ東北地方ニ最モ多數ヲ賣捌キ且其品類ニシテ目下該商ノ手ニ在ルモノト雖ヒ概シテ流行時ニ中リ仕込方ヲ爲シタルモノヽミニアラス全ク新舊混同スルモノニテ殊ニ本商販闊ヲ機節トスルハ現今以後ヲ以年中最好ノ期會ト爲スモノニ有之而メ此ニ禁止發令後其日子既ニ五旬餘日ノ久シキニ渉リ尚ホ今日ノ病況ヲ以考フレハ此末幾許日ヲ俟テ解禁可相成義トモ預期難致隨テ當業者ニ於テハ實ニ今日ノ販路ヲ

主者伺指令

阻塞セヲレ唯ニ困厄ニ陷ルノ外之レナク大ニ氣力ヲ失ヒ特ニ屑撰リト稱スルモノハ最下等ノ賤民（乞丐ニスルモノ）ニシテ孰レモ其當業者ニ憑リ今日僅少ノ賃錢ヲ得或ハ市街ノ非溷ニ就キ襤片等ヲ拾収シ漸ク消暑ヲ爲スモノヽ如キニ在リテハ此認定以來今日迄ハ同業親戚又ハ故舊ノ情誼協救ヲ頼ミ僅カニ糊口凌來リシモ本年流行ノ病況ニ處シテハ業ニ既ニ目下饑餓ニ迫ルノ現況顯然タリ尤此賤民ノ如キハ惡疫流行ナキ時ニ於テモ近年世上擧テ商況ノ不振ナルニ據リ活路ノ艱辛ヲ哀訴セサルモノ無キノ折柄此病災ニ遭遇シ各自他ニ活路ヲ取ルノ策竭キタルハ又止ヲ得サルモノト雖ヒ將來如何ナル慘狀ヲ覩ルモ測リ難クト日夜憂慮罷在候就テハ右禁令ノ義容易御解停難相成筋トハ万恐察候得共何分前段縷陳仕候狀態ニ際シ默視致兼候場合ニ付今般西成郡天保町ニ於テ建設致候熱氣消毒室ヲ充テ該業者ノ願旨ノ如ク輸出入トモ總テ嚴重消毒施行ノ上該當官吏ノ証票ヲ附シ運搬爲サシムルニ於テハ他ノ健康地ニ輸送スルモ自他病毒媒介ノ懸念ハ万有之間敷哉ト考按仕候條夫是ノ事實御憫諒ノ上特別御詮議ヲ以右輸出入解禁ノ義御裁可相成候樣致度別紙願書類相添何分ノ御指揮相仰キ候也

明治十九年七月十四日　　大阪府知事建野鄕三

内務大臣伯爵山縣有朋殿

（附屬書類ハ畧ス）

（指令）

書面伺之趣熱氣消毒所落成實地試驗之上更ニ可伺出事

明治十九年七月十九日　　内務大臣伯爵山縣有朋

電報

内務大臣ヘ伺　　神戸居留米國人マヤ商社所有ノ古綿五万斤大阪ヨリ神戸小野濱ヲ經テ同所ヨリ米國ヘ輸送シタキ旨願出タリ許否如何取扱フヘキヤ至急御指揮ヲ乞フ

明治十九年八月十四日　　大阪府知事

内務大臣

（指令）

米國ヘ向ケ古綿輸送ノ義ハ聞屆苦シカラス

明治十九年八月十七日　　内務大臣

瀛舶ヘ醫師乘組解停ノ義ニ付伺并指令

本年五月十八日電報ヲ以御達ニ依リ府下商船會社其他ノ瀛舶ニシテ諸縣ヘ往復スルモノニハ醫師ヲ乘組セ居リ候處是迄該瀛舶内ニ於テ虎列拉病發生

セシヿ無之且府下病勢モ追日減縮候ニ付自今醫師乘組ノ義解停可然哉此段相伺候也

明治十九年九月三十日　　大阪府知事建野鄕三

内務大臣伯爵山縣有朋殿

（指令）

書面伺之通

明治十九年十月六日　　内務大臣伯爵山縣有朋

（參照）

其府商船會社其他ノ汽船ニシテ諸縣ヘ往復スルモノニハ昨年八月二十九日付達シニ準シ取扱フヘシ但該達第一項等長崎港トアルハ其府下諸港ト心得ヘシ

明治十九年五月十八日　　内務大臣

大阪府知事

衞第四五二〇號

現今府下ニ於テ虎列拉病散發致シ候付テハ目下消毒豫防ノ爲メ該病發生セシ家宅ハ患者療養中ハ勿論避病院ヘ送付跡其他轉歸後トイヘ𪜈傳染ノ虞有之ト見込候分ハ三日間人民交通ヲ遮斷致候間豫メ此段及御通牒候也

明治十九年四月三十日　　大阪府

在阪官衞宛

衞第四五九六號

方今虎列拉病散發候ニ付テハ該病ニ罹ル家宅ハ三日間交通遮斷可致段衞四五二〇号ヲ以豫メ及御通牒置候處自今自宅療養中ノ家屋ニ限リ之ヲ施行シ其他轉歸後或ハ避病院ヘ入療跡ハ消毒法施行ノ上出入等放任致候條此段及御通報候也

明治十九年五月三日　　大阪府

在阪官衞宛

衞第四七九八號

虎列拉病豫防ノ爲メ別紙之通布達候就テハ貴所輸出入物品等ニモ關係可有

之ニ付豫メ及御通牒置候也

明治十九年五月七日

在坂官衙宛

大阪府

大阪市街並其接續町村各川ニ停泊スル船舶内ニ於テ虎列拉病ヲ發シ川中ニ吐瀉セシモノ有之爾後右等ノ儀有之ニハ病毒傳播ノ虞アルヲ以テ各川出入ノ船舶ハ當分ノ間左項ニ從フヘシ

但西洋形滊船ハ此限リニアラス

第一項　凡ソ乘組人アル船舶ハ安治川木津川尻無川ハ入津料取立所ヨリ上流傳法川ハ備前橋上流ニ停繫スルヲ許サス

第二項　第一項各川ノ上流ニ於テ積荷ヲ爲サントスルモノハ其場所及ヒ時間ヲ定メ安治川水上警察署若クハ入津料取立所派出警察官吏ノ認可証ヲ受クルニアラサレハ之ヲ許サス

第三項　第一項各川ノ上流ニ於テ其積荷ヲ陸揚セントスルモノハ其場所及ヒ時間ヲ定メ入津料取立所派出警察官吏ノ認可証ヲ受クルニアラサレハ之ヲ許サス

但積荷ヲ陸揚シ直ニ荷物ヲ積載セントスルモノハ本文ニ從ヒ認可証ヲ受ケ其認可ノ時間内停繫スルヲ得

右布達候事

明治十九年五月八日

大阪府知事建野鄉三

第四十二號

以書簡致啓達候陳ハ當府下虎列拉病ノ義追々增發致候ニ付目下檢疫委員ヲ設ケ專ラ豫防消毒實施爲致居候ニ付テハ府下在留貴國人ノ内若シ同病ニ罹ルモノ有之哉モ難計ニ付該病患者發生候節ハ速ニ當府檢疫本部ヘ報告候樣當府下在留貴國人民ヘ御達置相成度得貴意候敬具

明治十九年五月十九日

兵庫大阪兼

清國領事理事官宛

大阪府知事建野鄉三

第四十三號

以書簡致啓達候陳ハ當府下虎列拉病ノ義本月一日以來追々增加シ既ニ一昨十七日ハ新患者九十一名（大阪四區四十八人　郡村四十三人）昨十八日ハ新患者八十七名（大坂四區五十二人　郡村三十五人）ノ多キニ達シ候間當府下在留貴國人ノ内若シ同病ニ罹リ候者

有之候ハヽ居留地取締長ヨリ直ニ當府檢疫本部ヘ通知相成候樣御達置相成度御通知旁此段得貴意候敬具

明治十九年五月二十日

大阪府知事建野鄕三

各國領事宛

衞乙第一二六號

近來虎列拉病蔓延ノ勢ニ就テハ天保山分遣衞戍兵中ニテ自然該病ニ罹リ候モノ有之候節ハ最寄檢疫支部ヘ通報セシメ候條一般常人同樣御取扱相成候樣御取計相成度預テ此段及御照會候也

明治十九年五月廿九日

大阪衞戍司令本部

大阪府檢疫本部御中

（回答）

本檢第八六號

近來虎列拉病蔓延ノ勢ニ付テハ天保山分遣衞戍兵中ニテ自然該病ニ罹ル者有之節ハ最寄檢支部ヘ御通報可相成ニ付一般常人同樣取扱可然樣云々衞乙第一二六號御照會之趣了承乃所轄檢疫支部ヘ相達置候條此段及御回答候也

明治十九年五月三十日

大阪衞戍司令本部御中

長崎縣ヨリ電報

貴府ヨリ本縣ニ向ヒ乘船スルモノニハ食物ノ土產ヲ携帶セサル樣御取計アリタシ

明治十九年五月廿三日

長崎縣

大阪府

（回答）

食物輸送ノ禁令其筋ヨリ達アルニアラサレハ取締付ガタシ

明治十九年五月廿四日

大阪府

長崎縣

第三十八號

目今御府下虎列拉病流行ニ付古着及襤褸ヲ他ノ健康地ニ輸送スルヿヲ御禁止相成候趣就テハ本縣下ニ於テ紙漉營業ノ者多數有之平素御府下ヨリ紙屑

ソ取引多分ニシテ危險不尠候間右紙屑ノ義モ當分ノ内輸入差止置候條御府下該營業者ヘ可然御示諭相成度此段及御照會候也

明治十九年六月二日　　岐阜縣檢疫事務所

大坂府御中

（回答）

本檢第二一六號

目今府下虎列拉病流行ニ付古着及襤褸ハ他ノ健康地ニ輸送スルヲ禁止置候處尚ホ當府下ヨリ輸送スル紙屑ニ於ケルモ危險不少ニ付輸入御差止可相成旨云々該營業者ヘ示諭方第三十八號御照會之趣了承然ルニ古着及襤褸ハ其筋ノ特達ニ據リ他ニ輸送ヲ禁止スルモ其他ノ商品ニ於テハ成規モ無之義ニ付御來意ニ難應候條宜御了知相成度此段及御回答候也

明治十九年六月四日　　大坂府檢疫本部

岐阜縣檢疫事務所

庶丙六第五號

當台下各兵營内ニ虎列拉病者アル時ハ營内ノ汚穢物ハ消毒法ヲ施シ後ハ弘

社ニ托シ掃除爲致來候處掃除器具ヨリ營内ノ病毒ヲ市街ニ傳播スル恐レ有之候ニ付自今ハ貴府檢疫本部ニ托シ度御差支無之哉此段及御照會候也

明治十九年六月二十一日　　大坂鎮臺

大坂府御中

（回答）

本檢第六一五六

貴營内ニ於テ虎列拉病者アリシ時掃除方ノ義當府檢疫本部ヘ御托シ相成度旨御照會ノ趣了承右ハ淡路町三丁目廿四番地東檢疫支部ヘ相達置候間右ヘ御通報相成度此段及御回答候也

明治十九年六月廿二日　　大坂府

大坂鎮臺御中

本檢第七二八

大阪内外新報第三百八十二號（八月十日分）雜報欄内ニ梅酢ハ虎列拉ニ効アリト題シ貴台在勤ノ步兵大尉某該病ニ罹リ死歿シ解剖シタルニ腸胃中ニ動物ヲ發見シ爲メニ消毒ニ梅酢ヲ實驗セラレタルニ大ニ効用アリシ云々掲載有之候

右ハ全ク事實ニシテ果メ該病ニ特効アルヘキ御考斷ニモ可有之候哉爲參考致承知度候條乍御手數詳細實況御回示相煩度此段及御依頼候也

明治十九年八月十七日

大坂府檢疫本部

廣島鎮臺

軍醫本部御中

（回答）

院ケ第六十七號

本檢第七二八號ヲ以御申越相成候虎列拉病ニ梅酢特効云々ノ義無根ノ流説ニ候條此段及御回答候也

明治十九年八月廿日

廣島鎮臺軍醫部

大阪府檢疫本部御中

衛第三四六號

從來當府下ヨリ古着襤褸ノ類ヲ水路他ノ地方ヘ輸送スル節ハ一時貴地ニ陸揚シ更ニ積換直ニ運輸スル義ニ有之候處右ハ素ヨリ嚴密封緘シタル荷物ニシテ貴地ニ於テハ一切解封セス全ク一時通過スル迄ニテ貴地ニ輸入スルモノトハ區別有之義ニ付右等履歴ノ判然タル荷物ハ此際ト雖モ無差支運送候樣御取扱相成度万一是等ヲシテ一般輸入物同樣被差止候テハ該營業者ニ於テ非常ノ困難ヲ訴ヘ候事情難止義ニ付此段特ニ及御照會候條何分ノ御取計相成度候也

明治十九年九月廿五日

知事北垣國道代理

京都府書記官谷口起孝

大坂府知事建野鄕三殿

（回答）

警第八三八五號

衛第三四六號ヲ以御照會之趣了承右ハ貴府下發送ノ際嚴ニ封緘シ其封緘ニハ貴府下所轄警察署又ハ分署等ニ於テ該署印ヲ押捺シ一目貴府ノ物品タルヿ判明スルニ於テハ運輸セシメラレ候テモ差支無之乍去途中ニ於テ封緘中ノ物品ヲ增減又ハ交換シ若クハ奸商輩ニ於テ詐術ヲ施スヲ得サル樣極メテ嚴重封緘相成候樣致度此段及御回答候也

明治十九年九月廿八日

大坂府知事建野鄕三

知事代理

京都府書記官谷口起孝殿

第五四六號

以書翰致啓達候然ハ當港住我國フアバ、フヲート商社ヨリ別紙書面之通同社所屬ノ綿屑大阪ヨリ當地小野濱迄運搬免狀御下附方願出候間可成御取計相成度此段別紙相添得貴意候敬具

千八百八十六年十月廿五日　　獨逸國代理領事エスクリーン

大阪府知事建野鄕三閣下

拜啓然ハ大坂府下九之助橋西詰加藤藤七出店ヨリ古綿百斤ニ付金壹圓二拾五錢ニテ二拾万斤程相求メ候(尤モ物品ハ仝人手許ニ有之)處今般右物品小野濱ヘ積出シ當所ニテ米國爛布檢査官ノ点視ヲ以テ消毒施行ノ上米國ヘ運送致度依テ天保山ヲ經右物品運送之義御許可相成候ハヽ感謝此事ニ候也

一千八百八拾六年十月廿二日　　フアバート、ウオイト

大坂府知事建野鄕三殿

(回答)

第六十一號

貴簡拜讀陳ハ今般在神戸貴國人フアバー、ウヲイト商社ヨリ所有ノ古綿二拾万斤大坂ヨリ輸送致度旨申出ニ付御添翰之趣敬承致候右ハ差支無之候條其旨該商社ヘ御達相成度此段及御回答候拜具

明治十九年十月廿六日　　大坂府知事建野鄕三

在神戸

獨國代理領事エスクリーン貴下

檢第九一六〇號

虎列拉病流行ニ付古着襤褸紙屑古綿等輸出入ノ義兼テ禁止候處今般其筋ヘ經伺ノ上府下西成郡天保町消毒所ニ於テ消毒濟ノモノニ限リ輸出入差許候就テハ消毒濟ヲ証明スル爲メ該荷物ノ外包ニハ第一號雛形ノ焙印送リ狀面ニハ第二號雛形ノ朱印ヲ押捺シ輸出差許候條豫メ此段及御通牒置候也

明治十九年十月廿八日　　大坂府

各府縣宛

第一號焙印

大坂府
消毒濟

第二號朱印

大坂府
消毒所

監査員檢印

官衙照會

第五六四號

以書簡致啓達候然ハ當港我國パウル、ハイヲマン商會ヨリ別紙願書ノ通リ同商會所屬ノ綿屑大坂ヨリ當神戸小ノ濱ヘ運搬ノ免狀御下付方願出候間可然御執計相成度此段及御照會候敬具

千八百八十六年十一月五日　獨逸國代理領事エスクリーン

大坂府知事建野鄕三殿

我々共義綿屑三拾万斤大坂新町南通四丁目揖西源藏ヨリ仝綿屑三拾万斤大坂府下久之助橋西詰小林治助ヨリ仝綿屑三拾万斤大阪府下久之助橋西詰吉田卯助ヨリ相求メ候尤物品ノ義ハ右商人ノ手許ニ有之候米國ヘ出帆ノ便船有之候得共右綿屑到來セサルニ據リ出帆致兼爲メニ非常ノ損亡ヲ來ス次第ニ付小ノ濱ヲ經右綿屑積出方ノ儀切ニ希望罷在候小ノ濱ヘ積出ノ上ハ至急爛布檢査人ノ點視ヲ以テ消毒施行可致候前記ノ次第ニ付何卒右商人共ヘ天保山ヲ經物品運搬ノ義御許可相成候ハヽ感謝此事ニ候拜具

千八百八十六年十一月五日　ポールハイヲマン商社

大阪府知事建野鄕三閣下

（回答）

貴簡拜讀陳ハ今般在神戸貴國人パウル、ハイヲマン商會ヨリ所屬ノ綿屑大坂ヨリ神戸小野濱ヘ輸送致度旨申出ニ付御添翰ノ趣致拜承候右ハ差支無之候條其旨該商會ヘ御示達相成度此段及御回答候拜具

明治十九年十一月六日　大坂府知事建野鄕三

在神戸

獨逸國領事エフ、クリーン貴下

本一第百十五號

京都府下ヨリ他府縣ヘ運搬スル古着襤褸等ノ荷物ニシテ御府下ヲ通過スルモ別段消毒法ヲ執行セスシテ直ニ運送セシメラルヽ旨同府トノ間ニ特約ヲ設ケラレシ乎ニ致承知候果メ其事實有之候ハヽ乍御手數其方法至急御通報相成度此段及御依頼候也

明治十九年十一月八日　和歌山縣警察本部

大阪府警察本部御中

（回答）

本檢第一〇一六號

京都府下ヨリ他府縣ヘ運搬スル古着襤褸等ノ義ニ付云々警察本部ヘ御問合之趣了承右ハ該荷物ニ京都府警察署ノ封緘アルモノニシテ單ニ府下ヲ通過スルニ止ルモノヘハ別段消毒法ヲ施行セス運送爲致候義ニ有之候間此段及御回答候也

明治十九年十一月九日

和歌山縣警察本部

大阪府檢疫本部

本一第百二十六號

本檢第一〇一六號ヲ以御回答之趣了承當縣古着營業者ヨリ他府縣ヘ運搬スル荷物ニシテ御府下ヲ通過スルトキハ御府ニ於テ消毒法ヲ施行セラルヽニ付多少ノ日數ヲ費シ爲メニ該營業者ニ於テハ都合ニ依リ非常ノ損害ヲ蒙リ候由ニ有之候就テハ當縣警察署ノ封緘アル荷物ニシテ御府下ヲ通過スル者ニ限リ京都府下ヨリ運搬スル荷物同樣ニ御取計ノ義御依頼致度候條其諾否至急御回報相成度候也

明治十九年十一月十二日

大坂府檢疫本部御中

和歌山縣警察本部

（回答）

本檢第一〇三〇

貴縣下ヨリ當府下ヲ通過スル古着荷物ニシテ貴縣警察署ノ封緘アル分ハ京都府下ヨリ運搬スル該荷物同樣取扱方ノ義本一第一〇六一號付ヲ以御照會之趣了承右ハ御縣發遞ノ際嚴ニ封緘シ該封緘ニハ所轄警察署ニ於テ該署印ヲ押捺シ途中ニ於テ其物品ヲ增減交換スルヲ得サル樣御取計相成候ニ於テハ差支無之候條此段及御回答候也

明治十九年十一月十三日

和歌山縣警察本部

大坂府檢疫本部

追テ御照會中消毒法施行ノ爲メ多分ノ日數ヲ費シ爲メニ該營業者ニ於テハ都合ニ依リ非常ノ損害ヲ蒙ル由云々ト有之候得共凡一纏メノ荷物ハ半日乃至一日內ニハ必ス其消毒ヲ經ル義ニ付右等ノ如キ數日ヲ費ス義ハ萬無之候條此段申添候也

御願書

一今般古着襤褸ニ尋ヒテ反古紙屑品輸出止ノ云々御達之趣奉領承候然ルニ反古商専業品中古帳幷地券紙反古及書林又ハ帳簿製造家ノ裁チ屑ノ如キ尋常反古紙屑トハ大井ニ種類ヲ異ニシ更ニ不潔ヲ釀ス恐レ之ナク純然タル清潔品ナレハ曩ニ岐阜縣岐阜地方ノ如キ目下當府虎列拉流行ニ付紙屑輸送ノ儀ヲ謝絶シ來リ然ルニ前書記載スル地券反古ノ如キ右岐阜縣ニ於テ單然清潔品ト認メラレ伺濟ノ上輸送致居候樣ノ次第モ有之因テ前件古帳並地券反古及帳裁チ屑（俗ニシテ云フト）ノ如キ至テ清潔品ナルヿ尤モ頭取ヨリ斷然保証スル所ニ御座候間何卒尋常ノ反古紙屑ト同一視不被爲在右品ニ限リ輸出停止外ニ御聞屆被成下度此段奉願上候也

明治十九年六月廿一日

屑商頭取　篠原政七
同　清水豐七
同　小枝多三郎

大阪府檢疫本部御中

（指令）

書面願之趣古帳並地券反古ニ限リ輸出入不苦候事

明治十九年六月廿一日

大阪府撿疫本部

鹽魚類販賣之義ニ付伺

鹽魚干魚經節商仲間取締之者

一當春以來虎列拉病流行候ニ付テハ今般本府甲第百二号及示第百五十七号御達ノ旨拜承仕候然處本日私共日々取扱居候鹽魚類ハ該病ニ對シ有害ナル趣ヲ以鹽魚類悉皆明廿八日ヨリ販賣不相成旨警官ヨリ御説諭ニ相成候ニ付府下一般ヘ販賣可相止義ハ承知仕候得共他府縣及海外ヘ販賣輸出仕候義ハ御説示ノ廉ニ不相觸義ト存候ニ付販賣仕候テモ不苦候哉且干魚ノ内鯡カズノコ鰯ノ目刺干海老干蛸干貝ノ類其他不消化タル物品ハ當分販賣可相止ハ勿論ニ候得共煎雑魚其他油漬キ干魚亦身輕キ干魚ニシテ消化仕安キ物品ハ從前之通販賣仕候テモ不苦候哉此段御伺申上候若右兩項共販賣不相成次第ニ候ハヽ悪疫撲滅ノ期ニ至ル迄當分私仲間ノモノ一同休業可仕外無之候間右等ノ義御洞察被成下何分ノ義至急御指令ヲ仰キ候也

明治十九年六月廿七日

右商問屋取締

（指令）

書面之趣左之通可相心得事

他府縣又ハ海外ヘ輸出ノ義ハ苦シカラス

大阪府撿疫本部御中

西區靱南通五丁目八番地　泉　平兵衛

仝　仝町九番地　平野藤兵衛

仝　靱中通二丁目拾番地　山脇猪之助

右商仲買取締

東區豐後町八番地　寺田市太郎

西區靱中通三丁目十二番地　仙新助

仝　仝町十四番地　山中四郎兵衛

煎雜魚其他ノ干魚ハ販賣不苦ト雖モ衛生上有害ト見認ル品ハ販賣差止ムルヿアルヘシ

明治十九年六月二十八日　　大阪府檢疫本部

歎願書

南區道頓堀芝居茶屋
營業人共

一這回流行病爲メニ本年五月廿五日ヨリ諸興行停止御達相成候就テハ道頓堀演劇場モ同樣相成候處該場ニ接續ヲナス營業人及稼人共ニ於テ今日糊口ノ道ヲ失シ故ニ本年五月卅一日興行御差免相成度奉歎願候處難聞屆段御指令奉請候因テ銘々空シク其日ヲ凌クト雖モ最早一ケ月間以上ニ及ヒ實ニ暮方ニ困難仕候ニ付不得止奉再歎願候最モ劇場ノ內中座角座ノ如キハ兼テ御規則ニ基キ構造仕リ御檢査濟ニテ棧敷後手及ヒ其他空氣流通ヲ專ラニ設置有之義故何卒右等御憐察ノ上該場ニテ速ニ興行出來候樣御沙汰相成度候也

明治十九年七月二日

芝居茶屋取締
村瀨佐吉

大阪府知事建野鄕三殿

同營業人惣代
三河カメ
浦邊孫七
森ハマ
川島サト
大島利之助

（指令）
書面願之趣難聞屆候事
明治十九年七月二日

大阪府知事建野鄕三

御願

一我カ反古紙屑商ニ從來輸出販賣致居候紙出ト稱シ白紙ノ裁チ屑ハ純然タル清潔品ナルニ付別紙寫之通岐阜縣ノ如ク該地仝業者ヨリ出願ノ上御聞置相成候旨我仲間ヘ照會有之尙其他右品輸出先各地方ヨリ輸入差支無之候間輸送可致吳旨夫ゝ同業者ヘ過般ヨリ照會致來居候義ニ付最モ輸送ノ際不都合無之樣頭取ヨリ精ゝ注意取締可致候間何卒各地(紙出輸出地方ハ

岐阜縣岐阜三重縣山田高知縣高知岡山縣岡山兵庫縣淡路愛媛縣伊豫國三島東京西京）ヘ紙出ニ限リ輸送ノ義御詮議ノ上御許可被成下度此段奉願候也

屠商頭取　加藤藤七印
同　篠原政七印
（別紙ハ署ス）

大阪府知事建野鄕三殿

（指令）
書面願之趣難聞届候事
明治十九年七月二十六日

大阪府知事建野鄕三

健康地ヨリ輸入之義ニ付御願

一私共儀古着營業ノ者ニ罷在候處本年六月十五日古着輸入御差止御布達之趣奉承知候然ル處六月以來德島縣阿波國名東郡德島市内ニ於テ物品買入罷在何レモ當今至用ノ物品ニ有之加之右物品ハ皆々代金仕拂濟ニ相成候就テハ忽チ資金ノ運轉モ停塞シ爲ニ今日商業ノ位地ニ立チ賣買ナスモ自由ナラス實ニ休業同樣ニ有之今日ノ活路ニ困難相極リ居候場合ニ有之尤右德島縣下ハ他ノ近縣ニ異ナリ本年流行病初發ヨリ獨リ健康ノ位地ヲ保チ米ヶ流行病ノ地ニ御認定モ無之候義ニ付何卒前件御洞察ノ上特別ノ義ヲ以御許可被成下度此段連署ヲ以奉上願候也

明治十九年九月二十五日

東區瓦町五丁目二番地平民
石井重助
南區安堂寺橋通四丁目四十一番地平民
阪本直右衛門

前書之通申出候ニ付奥印仕候也

古着商総取締
馬場左兵衛

前書之通候也
明治十九年九月廿四日

大阪府東區長宮崎鐵幹

（指令）
書面願之趣難及詮議候事
明治十九年九月廿五日

大阪府知事建野鄕三殿

大阪府知事建野鄕三

特許興行制限御解除歎願書

私共謹テ申上候本年當府下ニ於テ拉病猖獗ヲ究メタルヲ以テ仝年五月以來諸興行ノ營業停止ヲ命セラレ候御達ヲ遵奉シ只管拉病撲滅ノ日ヲ相待居候處追日時期秋冷ニ際シ拉病漸次消滅シタルト諸興行六ケ月ノ久シキ停業ニ渉リ莫大ノ損害ヲ釀シタルヲ酌酌セラレタルトニ據リ當ニ特許ヲ蒙ムリ各劇場ニ關係ノモノ共ニ至ル迄恩命ヲ蒙ムリ愁眉ヲ開キ候コト偏ニ御仁惠ノ御主意ト乍恐謹テ奉感謝候然ルニ左ニ連署ノ劇場ノ内角中両座ハ本年四月中ヨリ興行ノ願序ヲ盡シ御屆濟ノ上表看板等モ掲ケ衣裝万端ニ准備ヲ遂ケ五月下旬開場ノ計畫ヲ爲シ就中角座劇場ノ如キハ五月廿五日ヲ以テ御許可ヲ經テ初日開場ヲ執行シ看客續々入場ノ際惡疫ノ爲メ突然閉場ヲ命セラレ候ニ付停業罷在候處前述ノ如キ特許恩典ヲ辱フシタルト雖モ其制限ニ基キ興行スルニ於テハ譬ヘハ制限ニ對スルノ人數滿員ヲ占ムルト仮定スルモ從來興行ノ方法人員トハ殆ント三ケ一ノ豫算ニ據リ最初ヨリシテ到底損失相償ハサルトハ思慮仕候得共掌ヲ空クシテ特許制限御解除ノ日ヲ相待チ候内元來右両坐トモ蕊題ハ毎ヒ六三朝顔日記四ツ谷怪談等ノ夏狂言ニ據リ衣裝等ハ惟子單衣ヲ用ヒル箇所多ク漸次向寒ノ期候ニ付巨額ヲ投シテ新調シタル衣裝ハ書餅ニ屬シ候ニ付更ニ冬服ト改正仕候ニハ長ク停業ノ上亦幾層ノ費用ヲ要スル而已ナラス俳優一統モ他地ニ散スルノ障害ヲ釀シ候愛ヒ有之哉モ圖リ難クト存シ前両座トモ本年十一月上旬ヨリ開場仕候處御制規限ノ人員ニ稍滿テ候得共非常ノ損失ヲ來シ候ニ付此上ハ飽迄該特許制限御解除ノ日ヲ待チ從來方法ノ如ク興行仕候精神ニテ角朝日辨天ノ三座ハ御屆濟ノ上既ニ表看板ヲ掲ケ戎中ノ両座ニ於テモ不日興行ノ計畫ニ有之候ニ就テハ今ヤ時期屋上ニ霜ヲ置ケルノ寒冷ヲ來シ且ハ目下ノ拉病患者ハ僅々二三名ニ過サル事ハ其表ヲ掲載スル各新聞紙上ニ於テ承知仕候ニ付必ス近日速ニ特許制限ヲ御解除被成下候歟ト私共日々相待居候内最早當年内ハ三十餘日ニ差迫リ其ノ内歳尾十日間ヲ除ケハ些々タル二十日間餘ノ日子ヲ得ルノ今日ニ立至リ候得共私共義ハ前件御解除ノ御沙汰ヲ一日千秋ノ思想ヲ懷キ居候場合之ニ加ルニ各座關係ノ表方ト稱スル木戸番棧敷廻リト稱スル雇人等數十名ハ元ヨリ資産アル者ニハ無之停業中他ニ轉業スヘキ目的モナク單ニ其關係ノ座主ニ迫リ救助ヲ乞フニ汲々タル等ノ事情實ニ愍然ニ耐ヘ難ク或ハ數十名ノ芝居茶屋營業ノ者共ハ場中ニ於テ氷茶菓子ヲ除クノ外一切飲食物ノ販賣ヲ停止サレタレハ特許右茶菓子ヲ販賣スル興行ノ開場ヲナスモ何ッ迄カ休業候樣ニテハ糊口ノ目途ヲ失ヒ實ニ難澁罷在候尚衣裝髢鳴物小道具等ノ貸物業及ヒ狂言作者狂言方義太夫語リ囃子方其他劇場ニ關係シ

テ生活ヲ得ルモノ無量幾千人ナルヲ知ラス最早此上ハ座主及ヒ俳優以下一切ノ關係者一統飢餓スルノ日ヲ待ツノ外致方モナキ次第必死困難ノ情實ヲ深ク御憐察被成下特別制限ノ義特別ノ御詮議ヲ以テ至急御解除相成候樣偏ニ奉願上候且ハ吳々モ前述ノ願意御聞屆相成候樣左記ノ者共連署ヲ以テ此段哀願仕候頓首敬白

明治十九年十一月廿八日

角劇場興行人　小澤松三郎印
中劇場興行人　吉原長三印
戎座劇場興行人　三河傳太郎印
辨天座劇場興行人　山田彦吉印
朝日座劇場興行人　藤岡貞三郎印
角座主　和田清七印

前書之通候也

中座主　三河彦治印
戎座主　三河幸三郎印
辨天座主　尼野吉兵衛印
朝日座主　淺野治助印
芝居茶屋取締人　村瀨佐吉印

大阪府知事建野鄕三殿

（指令）

書面願之趣難及詮議候事

明治十九年十一月廿九日

大阪府南區長小柴景起印
大阪府知事建野鄕三

丙第三百二十三号

八弘社

其社所有天王寺長柄岩崎新田三火葬場ヘ虎列拉病死体并ニ排泄物取締ノ爲メ巡査派遣候條爲心得此旨相達候事

明治十九年五月廿日

大坂府知事建野鄕三

丙第三百二十一号

日本郵船會社大坂支店
大坂商船會社
大坂共榮社
瀧船長安丸船主柏谷忠七
仝第一第二第三運輸丸船主尼崎伊三郎
仝尋源丸船主高田種之助
仝寧靜丸船主山田海三

府下虎列拉病流行ニ付内務大臣ヨリ左ノ各項可相達旨被達候條此旨相達候事

明治十九年五月十九日

大阪府知事建野鄕三

第一項　府下各港ニ於テハ乘客ヲ檢査シ虎列拉病ニ罹ルモノ及ヒ該病ノ疑アルモノハ之ヲ拒絶スヘシ

第二項　船内ニ於テ該患者發生シタルトキハ直ニ之ヲ離隔シ置キ着港ノ上檢疫官ノ指揮ヲ受ケ避病院ニ送ルヘシ

但消毒藥ヲ備置キ嚴重ニ消毒法ヲ行フヘシ

第三項　該病死屍ハ着港ノ上檢疫官ノ指揮ヲ受ケ相當ノ手續ヲ爲スヘシ

第四項　該患者ノ携帶品衣服臥具及ヒ他ノ乘客ノ所有品ト雖モ病毒ニ觸接シタル虞アルモノハ悉皆之ヲ取分ケ置キ着港ノ上檢疫官ノ指揮ヲ受ケ消毒法ヲ施スヘシ

第五項　患者ニ用ヒタル臥具手巾等ハ檢疫官ノ立會ヲ受ケ之ヲ燒却シ其室ニハ消毒法ヲ施スヘシ

第六項　航海中離隔シタル患者及ヒ病毒ニ觸接シタル物品ニハ健康人ヲ近寄ラシムヘカラス

右取扱人
中園平治郎

丙第三百三十一号

日本郵船會社大坂支店
外六ケ所(前記ノ如シ)

其社(力)所有ニシテ乘客ヲ搭載スル漁船ニハ醫員ヲ乘組セ本年當府丙第三百廿一号達ヲ執行セシムヘシ此旨相達候事

明治十九年五月廿七日

大坂府知事建野鄕三

達第二百一号

日本郵船會社大阪支店
外六ケ所(前記ノ如シ)

漁船ニ醫師爲乘組之義本年五月丙第三百三十一号ヲ以テ相達置候處自今共義ニ及ハス

但本年五月丙第三百廿一号達ハ實行スヘシ

明治十九年十月七日

大坂府知事建野鄕三

日本郵船會社大坂支店

外　六ケ所(前記ノ如シ)

本年五月當府丙第三百廿一号ヲ以縣中於テ虎列拉患者發生セシ節取扱方ノ義
相達置候處該達ハ廢止ス

明治十九年十二月廿五日

大阪府知事建野郷三

虎列剌病毒ノ河水ニ依テ廣ク蔓延シ且ツ其病毒ノ久シク消滅セサルヿハ日本ニテモ西洋ニテモ其例少ナカラサルヿニテ世ノ人モ普ク知ル所ナレハ今更之ヲ述フルニハ及ハサルニ似タレトモ昨十八年十月八日西區土佐堀二丁目筑前橋南詰ニ碇泊セシ寶力丸ト云ヘル日本形船ノ水夫劇シキ虎列剌病ニ罹リテ川中ニ吐瀉シ其日ヨリ筑前橋ヨリ下流ニ沿フタル町村ニ於テ夥敷患者ヲ生シ遂ニ其筋ニ於テハ府下ヲ虎列剌病流行地ト認定セラレテ爲ニ商工一般其營業取引上又ハ其影響ニヨリ大凡百万圓餘ノ損失ヲ來タシ甚シキ不景氣ヲ唱ルコトモ畢竟豫防消毒ニ意ヲ用ヒス殊ニ府下從來ノ弊習ニテ川ノ下流ヲモ厭ハス濫ニ汲取テ飲料トナスカ爲メ右ノ不幸ヲ惹起シタルニ因ルモノナルヘシ然ルニ本年一月以來モ昨年ヨリ引續キ日々二三名宛同病患者ノ絶ヘサルハ去十年十二年及十五年ノ流行後ニモ見サル所ニテ殊ニ本月十一日ノ如キハ西區内ニ於テ同病ニ罹ルモノ頓ニ七名ノ多キニ及ヘリ寒冷ノ時ト雖トモ尚斯ノ如シ右ノ有様ニテ追々温暖ノ節ニ至ラハ病毒益々蔓延シテ如何ナル流行ニ及フヤモ測ルヘカラス今ニシテ之ヲ防キ貴重ナル生命ヲ保チ營業ノ繁昌ヲ謀ランニハ各自ニ於テ善良ナル飲水ノ必要ナルヲ悟リ斷然飲水汲取許可外ノ河水ヲ飲用スルヿヲ止メ井水ト雖𪜈必ス試驗濟ノ良水ノミヲ擇テ飲料トナスニアリ看ヨ衣服襁褓及ヒ其他ノ物ニモセヨ總テ自宅ニ於テ洗濯スルヿヲ嫌フ位ノ汚穢物ハ人々皆河岸ニ出テ洗濯シ又大水道ノ汚水及ヒ洗湯屋ノ汚レタル湯抔モ盡ク河ニ流レ出サルハナシ然ルニ之ヲ顧ミス濫ニ汲取テ飲料トナスハ果シテ何ノ心ツヤ左ニ昨年以來四區及ヒ西成郡ノ患者數ト其内河流ニ沿フタル町村ノ患者數トヲ掲ケテ虎列剌病毒ハ全ク不良ノ水ヲ飲用スルヨリ蔓延傳搬スルモノタルヲ知ラシム

明治十八年虎列剌患者數

	西區	南區	東區	北區	西成郡	計	四區及西成郡人口千人ニ付患者	其他各部區患者	各郡人口千人ニ付患者
患者	四百五十二人	三百六十五人 内百八十一人ハ日本橋筋	九十九人	百五十六人	六百五十七人	千七百二十九人 内九百八十六人ハ川沿町村ニ係ル	三人三分六厘	四百八十六人	五分

右表中川沿ヒニ係ル患者九百八十六人ハ最トモ川ニ接シ常ニ河水ヲ汲取リ

飲料ニスル場所ノミヲ調査シタルニテ此他トイヘトモ不潔ノ川水ヲ飲ミ該病ヲ惹起シタル者幾許有ル乎量リ知ルヘカラス

明治十九年三月

大阪府衛生課

大阪府衛生課臨時報告

虎列拉病流行時心得

目下虎列拉病流行ノ折柄ナレハ銘々篤ク注意ヲ加ヘ豫防法ヲ怠ルヘカラサルハ勿論第一虎列拉流行ノ時ノ暴瀉ハ總テ虎列拉性ヲ具ヘ其家族ニ傳染スルモノナレハ之ヲ通常ノ下利ト同様ニ心得等閑ニ棄置クトキハ遂ニ大事ニ至ルヘシ故ニ仮令ヒ一度タリトモ暴瀉ヲ發スルコトアルトキハ直ニ醫師ノ治療ヲ受ケ豫防法ヲ尋子之ヲ守ルヘシ然ルニ世人ハ往々一二度ノ下利又ハ暴瀉アルモ通常ノ下利ノ如ク心得テ油斷スル者多ク偶他人ヨリ醫療ヲ勸メルヿアルモ曰ク私ノ下利ハ平生ノ癖ナリ或ハ曰ク此下利ハ酒ヲ過飲セシ爲ナリ或ハ曰ク下劑ヲ服セシ爲ナレハ自然ニ治ルヘシ抔ト更ニ何等ノ手當モセス或ハ家族カ心配スルナラント遠慮シテ之ヲ知ラセス或ハ屆出ンヿヲ嫌ヒテ醫師ヲ招カス些細ナル事情ヨリ之ヲ隱蔽シ手後レノ爲メ遂ニ重キ容体ニ陷リ始テ周章狼狽スルモノ少ナカラス若シ其初ニ當リ速ニ醫療ヲ受ルナラハ重キモ輕クナリ死スヘキモ治ルコトアルヘキニ之ニ心附スシテ大切ナ命ヲ殞スニ至ルハ愚モ亦甚シト謂フヘシ元來虎列拉病ハ其經過ノ甚タ迅キモノニテ僅ニ寸刻ノ差ヒニ據リ生死ニ拘ハルコトナレハ此頃ノ下利ハ仮令一二度ナルモ速ニ醫師ノ治療ヲ受ケ尚又左ノ箇條ヲ心得置クヘシ

一下利アルトキハ速ニ毛布ニテ腰腹ヲ纏ヒ包ミ湯「タン、ポ」ヲ置キ腹部ニハ「コンニヤク」又ハ飯ヲ温メ手拭ニ包ミテ之ヲアテ置キ且ツ温ナルカタクリ湯或ハ葛湯ヲ飲ムヘシ

二暴瀉ニ嘔吐ヲ兼テ起シ手足少シク冷ヲ覺ユルナラハ酢ニテ芥子ノ粉ヲ煉リ木綿ノ切ニノバシテ手足ニ貼リ又ハ風呂ヲ沸シテ之レニ二三合ノ芥子ヲ混セ其内ニ浴リテ能ク温モリ汗ヲ取ルヘシ

三一度暴瀉シタル後尚引續キ下利ノ心持アルトキハ成丈ケ肛門ヲ壓ヘテ耐忍スルヲ良シトス

四嘔吐ヲ催ストキハ碎キタル氷ヲ少シヅヽ頻リニ用ユヘシ

五惡心及ヒ心下苦悶又ハ轉筋アルトキハ前ノ如ク芥子ノ粉ヲ煉リテ腹及ヒ腓腸ニ貼リ湯水ヲ望マハ少シヅヽ頻リニ與フヘシ食物ハ總テ醫師ノ指圖ニ從フテ用ユヘシ

附言

虎列拉病流行ノ時ハ猥リニ他家ノ厠ニ上ルヘカラス若シ其前ニ暴瀉セシ人ノ上リタルヿアレハ爲ニ傳染スルヿアレハナリ

又大便ノ通シ惡キトテ妄リニ下劑ヲ用ユヘカラス之レカ爲ニ下利止マスシテ遂ニ虎列拉病ニ陷ルヿアルモノナリ

諭第三号

昨十八年ハ府下非常ノ水害ニ遭ヒ土地家屋汚水ノ爲ニ浸潤セラレタル町村許多ナルヲ以テ爲ニ惡性ノ流行病ヲ誘起シ如何ナル慘狀ヲ觀ルヤモ測ルヘカラスト官民共ニ苦慮セシ所ナリシカ一時蔓延セシ虎列拉病モ日ナラスシテ減退シ腸窒扶斯ノ如キモ例年ニ比スレハ多數ナリシモ甚マキ流行ニ至ラサリシハ實ニ幸福ト謂フヘキナリ然ルニ本年一月一日以來虎列拉病患者ハ日々絶ヘスシテ本月十三日迄ニ百四拾餘名ニ及ヒ腸窒扶斯患者モ亦多數ニシテ已ニ七百名ヲ超ヘ加之常年ニ少ナキ發疹窒扶私モ四百五十餘名ニ上リタルハ近年稀ナル傳染病多キ年柄ト謂フヘシ斯ク惡性病ノ多キ所以ヲ考フルニ昨年洪水ノ浸入シタル町村ニ於テハ床下ノ土壤濕潤トナリ之レカ爲ニ床下ニ集堆セル塵芥等漸々腐敗シテ病毒ヲ釀シ斷ヘス屋内ニ蒸發シテ不知不識其毒氣ニ觸レ冒サレ遂ニ發病スルニ至ルモノニシテ卽チ昨年ノ洪水病毒ノ種ヲ蒔キ今年ニ至テ其萌芽ヲ發生スル者ナラン若シ斯有樣ニテ追々温暖ノ氣候ニ至ラハ腐敗物ノ蒸發漸ク熾ニシテ病毒ノ發生隨テ增加シ惡性病患者益々多キヲ加ヘテ昨年苦慮セシ所ノ慘狀ヲ今年ニ現出スルヤモ知ルヘカラス加之床下及ヒ家屋近傍ニ腐敗物アレハ屋内ニ病毒ヲ蒸散スルノミナラス井水中ニモ滲入スルモノナレハ今ヤ之ヲ豫防セント欲スルニハ各自ニ於テ床下ノ濕潤ナル土壤及ヒ塵芥物ヲ除キテ乾燥セル土砂ト入レ換ヘ力メテ床下ノ空氣流通ヲ良クシ兼テ家屋ノ周圍ニ塵芥汚穢物等ヲ堆積セサル樣篤ク注意スヘシ

右告諭候事

明治十九年三月三十日

大坂府知事建野鄕三

甲第六十一号

虎列拉豫防實施ノ都合有之追テ何分ノ義相達候迄吐瀉兼發ノ病者ヲ診察シタルトキハ直ニ別紙書式ニ據リ報告書ヲ作リ患者居住所轄ノ警察署或ハ分署巡査派出所又ハ郡區役所戶長役場ノ内ヘ差出ス可シ

右醫師ヘ布達候事

明治十九年四月廿一日

大坂府知事建野鄕三

（書式）

吐瀉兼發患者報告書

何郡(區)何村(町)何番地
職業　何　誰
何年何ケ月

右何月何日午前何時ヨリ吐瀉兼發候處何病ト診察候間此段報告候也

年　月　日

何郡(區)何村(町)何番地
醫　何　誰印

大坂府知事何　誰殿

甲第六十三号

虎列拉病豫防上ノ都合有之候ニ付吐瀉アル疾病ニ罹リタル者ヲ他ニ移サントスルトキハ最寄警察署ヘ屆出認可ヲ受クヘシ違フモノハ刑法第四百二十六條ノ刑ニ處セラルヘシ

右布達候事

明治十九年四月廿四日

大坂府知事建野鄉三

甲第六十五號

目今府下ニ於テ虎列拉病發生候ニ就テハ此際吐瀉アル病ニ罹リ醫療ヲ受クル能ハサル貧困者ハ本年甲第五十七號布達救濟規則ニ比準シ診察料及藥價ヲ支給スヘキニ付直ニ最寄醫師ニ就キ治療ヲ受ケ轉飯ノ後該規則ニ準據シ所轄戸長（大坂四區ハ區長）ノ奥書ヲ得テ出願スヘシ

右布達候事

明治十九年四月三十日

大坂府知事建野鄉三

諭第五號

虎列拉病豫防方ノ義ニ付是迄屢々告諭ニ及ヒ各自ノ注意ヲ促スト雖モ兎角消滅ノ摸樣之レナク去ル四月中ノ患者總數百四拾六人ニシテ其内九拾六人ハ死亡シ又本月一日ヨリ同四日午前七時迄ニ四拾六人ノ患者アリテ其内拾六人ハ死亡セリ今日ノ景況ニシテ追々温熱ノ氣候ニ移リ病毒益々蔓延スルニ至ラハ貴重ノ生命ヲ失フハ勿論諸商業上ニモ大ナル損害ヲ釀シ隨テ府下一般ノ不景氣ヲ加フルヤ論ヲ俟タサルニ依リ此際以上ノ不幸ヲ免レント欲セハ各自ニ於テ不良ノ飲水及ヒ腐敗若クハ不消化ノ懸念アル食物等ハ決シテ用ユルコナク務メテ該病毒ノ感染ヲ蒙ムラサル樣篤ク注意スヘシ

右告諭候事

明治十九年五月五日

大坂府知事建野鄕三

甲第七十三號

大坂市街幷其接續町村各川ニ停泊スル船舶内ニ於テ虎列拉病ヲ發シ川中ニ吐瀉セシモノ有之爾後右等ノ義有之ハ病毒傳播ノ虞アルヲ以テ各川出入ノ船舶ハ當分ノ間左項ニ從フヘシ

但西洋形滊船ハ此限リニアラス

第一項　凡ソ乘組人アル船舶ハ安治川木津川尻無川ハ入津料取立所ヨリ上流傳法川ハ備前橋上流ニ停繫スルヲ許サス

第二項　第一項各川ノ上流ニ於テ積荷ヲ爲サントスルモノハ其場所及ヒ時間ヲ定メ安治川水上警察署若クハ入津料取立所泝出警察官吏ノ認可証ヲ受クルニアラサレハ之ヲ許サス

第三項　第一項各川上流ニ於テ其積荷ヲ陸揚セントスルモノハ其場所及ヒ時間ヲ定メ入津料取立所泝出警察官吏ノ認可証ヲ受クルニアラサレハ之ヲ許サス

但積荷ヲ陸揚シ直ニ荷物ヲ積載セントスルモノハ本文ニ從ヒ認可証ヲ受ケ其認可ノ時間内停繫スルヲ得

右布達候事

明治十九年五月八日

大坂府知事建野鄕三

甲第七十七號

府下虎列拉病漸次流行ノ兆有之ニ付今般當廳内ニ檢疫本部ヲ置キ追々各所ニ同支部ヲ設ケ豫防消毒ノ事務爲取扱候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ所管ノ支部ヘ差出スヘシ其位置及ヒ所管區域ハ追テ告示スヘシ

但支部ノ位置告示候迄ハ從前ノ手續ニ由リ届出ヘシ

右布達候事

明治十九年五月十五日

大坂府知事建野鄕三

甲第七十八號

目今府下ニ發生スル虎列拉病ハ其勢猛劇ニシテ蔓延ノ兆有之ニ付本日ヨリ神佛祭禮開帳等ノ爲メ人民ノ群集ヲ停止ス

明治十九年五月十五日

大坂府知事建野鄕三

示第百十五號

檢疫支部設置ノ儀甲第七拾七號ヲ以テ布達置候處右位置及所管區域左ノ通相定ム

東　檢疫支部　位置東區淡路町三丁目廿四番地
　但東區一圓ヲ管理ス
西　檢疫支部　位置西區西長堀北通三丁目八番地
　但西區一圓ヲ管理ス
南　檢疫支部　位置南區鰻谷中之町拾番地
　但南區一圓ヲ管理ス
北　檢疫支部　位置北區若松町二拾八番地
　但北區一圓ヲ管理ス
曾根崎檢疫支部　位置西成郡曾根崎村三百廿二番地
　但曾根崎警察署直轄部內(九條村ヲ除ク)全部ヲ管理ス
　全九條村出張所　位置西成郡東九條村三百六十一番地
　但西成郡九條村及北傳法分署部內傳法川以南全部ヲ管理ス
天王寺檢疫支部　位置東成郡天王寺村千三百廿五番地
　但天王寺警察署直轄部內全部ヲ管理ス

　全　難波出張所　位置西成郡難波村五百六番地
　但天王寺警察署難波分署部內全部ヲ管理ス
水上檢疫支部　位置北區安治川上通二丁目四十九番濱地

右告示候事

明治十九年五月十八日

大坂府知事建野鄉三

甲第八十號

虎列拉病流行ノ兆有之ニ付大坂四區并接續町村ニ限リ劇場人寄席其他諸興行場等凡ソ人ノ群集スル場所ハ此際一層清潔ヲ旨トシ其興行中便所ノ如キハ一日三回以上防臭藥ヲ散布スヘシ

右布達候事

明治十九年五月十九日

大坂府知事建野鄉三

甲第八十一號

府下虎列拉病流行ニ付自今古着及ヒ襤褸ヲ他ノ健康地ニ輸送スルヿヲ禁止ス

右布達候事

明治十九年五月廿日　　大坂府知事建野鄉三

甲第八十三號

今般左ノ各所ニ檢疫支部及ヒ同出張所ヲ設置シ豫防消毒ノ事務爲取扱候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ其所管ノ支部又ハ出張所ヘ差出ス可シ

枚方檢疫支部　位置枚方警察署內

但枚方警察署所轄部內（守口分署部內ヲ除ク）一圓ヲ管理ス

同守口出張所　位置枚方警察署守口分署內

但枚方警察署守口分署部內一圓ヲ管理ス

八尾檢疫支部　位置若江郡寺內村三百三拾六番地

但八尾警察署所轄一圓ヲ管理ス

堺檢疫支部　位置堺區車之町東壹丁舊師範學校跡

但堺警察署所轄一圓ヲ管理ス

右布達候事

明治十九年五月十九日　　大坂府知事建野鄉三

甲第八十四號

今般添上郡奈良高畑村千七拾四番地ニ檢疫支部ヲ設置シ豫防消毒ノ事務爲取扱候條奈良警察署所轄內ニ限リ虎列拉病ニ係ル諸届等ハ該支部ヘ差出ス可シ

右布達候事

明治十九年五月廿一日　　大阪府知事建野鄉三

甲第八十五號

今般甲第八十三號ヲ以八尾檢疫支部設置ノ義布達置候處便宜ニ據リ八尾警察署平野分署內ニ該支部出張所ヲ置キ同分署部內ヲ限リ管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ其出張所ヘ差出スヘシ

右布達候事

明治十九年五月廿二日　　大坂府知事建野鄉三

甲第八十七號

虎列拉病流行ニ付各檢疫支部同出張所管轄內ニ限リ本日ヨリ劇場及人寄席等ノ諸興行ヲ停止ス

右布達候事

明治十九年五月廿五日

大坂府知事建野鄕三

諭第六號

虎列拉病追々蔓延窃ニ其排泄物ヲ河中ニ投棄シ或ハ消毒附着ノ衣類器具等ヲ洗滌スルモノ往々有之此際河水ヲ使用スルハ傳染ノ媒介トナリ極メテ危險ニ付右流行中ハ大坂四區幷接續町村ノ河川ニ於テ食物及食器等ヲ洗滌スヘカラス

右告諭候事

明治十九年五月廿五日

大坂府知事建野鄕三

甲第八十九號

醫師ニ於テ虎列拉病患者ヲ診斷シタルトキハ急速口頭又ハ簡畧ノ書面ヲ以檢疫本部所轄檢疫支部警察署分署郡區役所戸長役場ヘ便宜報告シ追テ正當ノ屆ヲ爲スヘシ

右布達候事

明治十九年五月廿五日

大坂府知事建野鄕三

甲第八十八號

今般住吉郡長峽町三拾九番地ニ於テ天王寺檢疫支部出張所ヲ設置シ天王寺警察署住吉分署部内ヲ限リ管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸屆等ハ其出張所ヘ差出スヘシ

右布達候事

明治十九年五月廿五日

大坂府知事建野鄕三

甲第九十號

虎列拉病流行ニ付テハ當分ノ内吐或ハ瀉アル患者ハ本人親屬ノ内ヨリ其最寄ノ檢疫支部同出張所又ハ警察署分署郡區役所戸長役場ノ内ヘ速ニ屆出ヘシ違フモノハ刑法第四百二十六條ニ據リ處罰セラルヘシ

右布達候事

明治十九年五月廿七日

大坂府知事建野鄕三

示第百二十四號

本年示第百十五號ヲ以檢疫支部位置及管理區域告示候内曾根崎支部九條村出張所ノ儀便宜ニ據リ同村拾六番地ニ移轉シ同村及傳法警察分署部内一圓

ヲ併セ管理セシム

右告示候事

明治十九年五月廿八日

大坂府知事建野郷三

甲第九十一号

今般添下郡郡山柳町四丁目三拾九番地ニ撿疫支部ヲ設置シ豫防消毒ノ事務ヲ爲取扱候條郡山警察署所轄内ニ限リ虎列拉病ニ係ル諸届等ハ該支部ヘ差出ス可シ

右布達候事

明治十九年六月三日

大阪府知事建野郷三

甲第九十四号

今般葛上郡御所町七百三十三番地ニ撿疫支部ヲ設置シ御所警察署所轄ヲ限リ管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ同支部ヘ届出ヘシ

右布達候事

明治十九年六月九日

大阪府知事建野郷三

甲第九十五号

今般式上郡三輪警察署内ニ撿疫支部ヲ置キ三輪警察署所轄ヲ限リ管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ同支部ヘ届出ヘシ

右布達候事

明治十九年六月九日

大坂府知事建野郷三

示第百三十九号

昨年虎列拉病流行ノ餘烟全ク消滅セス本年尚ホ再燃シ一時ハ病勢頗ル猛劇ニシテ實ニ不容易景況ナリシニ昨今ニ至リ稍其數ヲ減スト雖モ此際病毒撲滅法并清潔豫防ニ一層注意セサレハ追日炎熱ニ向ヒ如何ナル慘狀ヲ見ルモ難計ニ付本年虎列拉病患者アリシ家宅ハ勿論其他近傍接續ノ場所ハ便宜大掃除執行候條各自ニ於テモ前顯ノ旨趣ニ依リ清潔豫防ニ注意ス可シ

但溝渠并井戸便所等ノ構造不完全ノモノハ改修ヲ爲サシムルヿアルヘシ

右告示候事

明治十九年六月十二日

大坂府知事建野郷三

甲第九十八号

本年五月甲第八十一号ヲ以府下虎列拉病流行中古着及襤褸ヲ他ノ健康地ヘ輸送禁止ノ義及布達置候處更ニ古着襤褸及紙屑古綿等ノ輸出入ヲ禁止ス

右布達候事

明治十九年六月十五日

大坂府知事建野郷三

甲第九十九号

今般南郡岸和田警察署内ニ檢疫支部ヲ設ケ同警察署所轄内(佐野分署部内ヲ除ク)ヲ限リ日根郡佐野分署内ニ該支部出張所ヲ置キ同分署部内ヲ限リ各管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ其支部(出張所管理内ハ其出張所)ヘ差出スヘシ

右布達候事

明治十九年六月十五日

大坂府知事建野郷三

示第百四十一号

本年甲第九十五号ヲ以式上郡三輪村同警察署内ニ檢疫支部設置ノ義及布達置候處便宜ニ據リ同村千二百番地ニ移轉ス

右告示候事

明治十九年六月十五日

大坂府知事建野郷三

示第百四十九号

今般十市郡田原本村壹番地ニ三輪檢疫支部出張所ヲ設置シ三輪警察署田原本分署部内ヲ限リ管理セシム

右告示候事

明治十九年六月廿一日

大坂府知事建野郷三

甲第百壹号

今般豐島郡池田警察署内ニ池田檢疫支部ヲ設ケ同署所轄(岡町分署部内ヲ除ク)ヲ限リ及ヒ同郡岡町分署内ニ該支部出張所ヲ置キ同分署部内ヲ限リ各管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ其支部(出張所管理ハ其出張所)ヘ差出ス可シ

右布達候事

明治十九年六月廿五日

大坂府知事建野郷三

示第百五十五号

本年六月甲第九十四号ヲ以葛上郡御所町ニ於テ檢疫支部ヲ設ケ御所警察署所轄ヲ限リ管理セシメ候旨及布達置候處便宜ニ據リ葛下郡三倉堂村三百拾番地ニ該支部出張所ヲ置キ高田分署全部内及永尾分署部内葛下郡築山池田疋

田野口市場岡崎木戸尺度磯野曾大根東中ノ十一ケ村ヲ管理セシム

右告示候事

明治十九年六月廿五日

大坂府知事建野鄕三

甲第百二号

目下虎列拉病流行且時季炎熱ニ向フニ付テハ自然販賣ニ供スル飲食物ニシテ腐敗ニ属スルモノハ勿論其他衛生上有害ト認ムルモノハ當分ノ内警察官吏ニ於テ其販賣ヲ差止メ仍ホ現品ヲ棄却セシムルヿアルヘシ拒ムモノハ刑法第四百廿六條ノ刑ニ處セラルヘシ但本月廿八日ヨリ施行ス

右布達候事

明治十九年六月廿六日

大坂府知事建野鄕三

示第百五十七号

今般甲第百二号ヲ以テ飲食物取締方布達候ニ付テハ自然腐敗ニ属シタル飲食物ヲ賣與シタルモノアルトキハ其現品ヲ添ヘ賣却人ノ住所氏名ヲ速ニ最寄警察署分署又ハ巡査派出所ヘ申告スヘシ

明治十九年六月廿六日

大坂府知事建野鄕三

甲第百六号

傳染病患者ニシテ避病院又ハ避病舍ニ入リテ療養スルモノハ其入院若クハ入舍ニ就キ要スル所ノ費用ハ勿論該家消毒及死屍送葬等ニ係ル費用トモ當分地方税ヲ以テ一切之レヲ支辨ス

右布達候事

明治十九年七月三日

大坂府知事建野鄕三

甲第百七号

今般島下郡茨木警察署内ニ茨木檢疫支部ヲ設ケ該警察署所轄内ヲ限リ及島上郡高槻分署内島下郡吹田分署内ニ各該支部出張所ヲ置キ同分署部内ヲ限リ各管理セシメ候條虎列拉病ニ關スル諸届等ハ其支部(出張所管理内ハ其出張所)ヘ差出ス可シ

右布達候事

明治十九年七月六日

大坂府知事建野鄕三

甲第百八号

今般石川郡富田林警察署内ニ檢疫支部ヲ設ケ同署所轄一圓ヲ管理セシメ候

條虎列拉病ニ關スル諸屆等ハ該支部ヘ差出ス可シ

右布達候事

明治十九年七月七日

大坂府知事建野鄕三

示第百六十八号

本年四月以來府下ニ於テ虎列拉病流行シ目下病勢益々猖獗ヲ逞シテ消滅ノ期何レノ日ニ在ルヤ測リ知ルヘカラス而シテ該病ノ誘因ニ種々アリト雖モ就中飲料水ノ不良ニ起因スルモノ最モ多キニ居ルモノヽ如シ就テハ既ニ試驗濟ノ井水拙カラサルモ未タ周到スルニ至ラサルヲ以此際掛官吏ヲシテ特ニ檢査セシメ候條各自所有ノ井水(本年試驗濟ノモノヲ除ク)ハ總テ試驗ヲ受クヘシ

明治十九年七月十日

大阪府知事建野鄕三

甲第百十六号

虎列拉病流行中大阪四區及接續町村ニ限リ夜間十二時以後納涼舩ヲ禁止ス

右布達候事

明治十九年七月廿四日

大阪府知事建野鄕三

諭第七号

虎列拉病流行ノ時ニ當リ注意スヘキ豫防攝生法等ハ是迄屢々告諭セシト雖モ目下炎暑ノ候ニ際シ人々苦熱ニ堪ヘサルノ折柄ナレハ日暮暫時ノ納涼ハ左マテ害スル所ナシト雖モ深夜ニ至ルマテ舟遊ヲナシ或ハ橋上露臺等ニ納涼シテ身体ヲ冷シ過クルハ同病誘起ノ原因トナルヘシ現ニ頃日來四區内ノ患者著シク其數ヲ增加シタルヲ見ルニ是ニ起因スルモノ不尠ヲ以各自宜クヽ之ニ鑑ミ自ラ惡疫ヲ招ク等ノ事ナキ樣篤ク注意スヘシ

右告諭候事

明治十九年七月廿四日

大阪府知事建野鄕三

甲第百十七号

本年甲第八十七号ヲ以諸興行停止ノ處寄席及觀物場ニ限リ相當官吏ニ於テ衛生上無害ト認ムルモノハ特許スルヿアルヘシ

右布達候事

明治十九年七月廿八日

大阪府知事建野鄕三

天滿橋下流ノ各川水ハ飲料ニ爲スヘカラサルハ各自素ヨリ熟知スル處ナレトモ此節旱魃ニ際シテハ井戸水モ自ラ涸ルヽニ就キ川水ヲ汲取リ日用遣ヒ水ニ爲スモノモ之アラン而ルニ各川中ヘハ窃ニ虎列拉患者ノ排泄物ヲ投棄シ又其汚染物ヲ洗滌スル抔不心得ノ者間々有之ユエ各自猥ニ川水ヲ使用候テハ何時其病毒ヲ感受スルモ圖ラレス實ニ危險ノコトナリ依テ自今各川中ヘ病毒ヲ投棄シ又不潔物ヲ洗濯ナセシモノアリシ時ハ其處ヨリ下流ノ橋々欄干ノ中央ニ黄色ノ標旗ヲ掲ケコレヲ公衆ニ告ケシラスヘクニ付右黄色ノ旗ノ建チアル間ハ其川筋ニハ虎列拉病毒ノ流レ居ルモノト心得食物ハ勿論衣類洗濯又ハ面ヲ洗フ等ハ甚タ危險ノ事ト知ルヘシ

右大阪四區及接續郡村人民ニ特報ス

明治十九年七月廿九日

大阪府檢疫本部

虎列拉病家心得

一虎列拉流行中吐カ又ハ瀉タルトキハ本人或ハ親戚ノ内ヨリ其最寄ノ檢疫支部同出張所又ハ警察署分署郡區役所戸長役場ノ内ヘ早速屆ケ出ヘシ若シ之ヲ隱蔽シテ屆ケ出サレハ科料ヲ申付ルヘシ

一虎列拉病ハ勿論吐カ又ハ瀉タルトキハ早速醫師ニ頼ミ藥劑ヲ貰ヒ且ツ病人隔離方及ヒ看病法消毒法等ハ總テ醫師ノ指圖ヲ受ケ必ス大切ニ守ルヘシ

其藥禮等ハ貧困者ニ限リ下ケ渡スヘシ

一虎列拉病者ニシテ避病院又ハ避病舍ニ入ルモノハ其入院又ハ入舍中ハ勿論家跡ノ消毒万端總テノ入費ハ下ケ渡スヘシ

一入院又ハ入舍中不幸ニシテ死去スル事ノアルモ送葬其他一切ノ費用ハ是亦本人ヨリサシ出スニ及ハス

一虎列拉ノ病毒ニ汚染シタル衣類等ハ成ヘク燒却セサル樣可取計ト雖トモ到底其儘殘シ置キテ傳染ノ虞アルモノニ限リ燒却スヘシ

但貧困者ノ分ハ其代價ヲ見積リ下渡スヘシ

明治十九年八月

大阪府

告諭第一号

吾邦ニハ舊暦七月ニ生靈祭ト唱ヘ團子牡丹餅冷素麺西瓜其外種々ノ飲食物ヲ佛前ニ供ヘ或ハ他家ト遣リ取リヲ爲シ飲食スルハ一般ノ仕來ナレトモ今年ノ如キ惡病流行ノ時ハ少シノ飲ミ過キ食ヒ過シモ忽チ惡病ノ元トナルハ毎年ノ例ニ據リテ疑ヒナキヿナリ既ニ昨年長崎ニ於テ此惡病ノ爲メ數千ノ人ヲ斃シタル其元ヲ尋ヌレハ盆祭ニ飲食ヲ過シタルヨリ起リタルモノニシ

テ本年ノ如キモ大和國十市郡北八木村ニ一時澤山ノ病人アリシハ全ク仝村ノ天頭祭ニ種々ノ飲食ヲ過セシガ基トナリ其外此處彼處ニ汎發スルモ或ハ病人ノ宅ヘ往キ或ハ病人ノ家ヨリ人ノ來リテ自然病ノ毒ヲ貰ヒ受ケタルモノ最モ多シ夫レ故今年ノ如キ惡病流行ノ時ニハ假令祖先ノ祭ハ爲ストモ種々ノ飲食ヲ爲シ爲メニ惡病ニ罹リテ大切ノ命ヲ棄ルノミナラス若シ一家死絶ニ至ル如キコトアラハ却テ先祖ニ對シ相濟サルコトナルヲ以テ銘々自ラ鑑ミ斯クノ如キ不幸無之樣篤ク愼ムヘシ

明治十九年八月九日　　大阪府知事建野鄉三

告示第十五号

虎列拉病豫防上ニ付當大阪港ヲ發シ神戸兵庫両港ヘ航行スル日本形船ノ患者有無ヲ檢査スヘキ旨兵庫縣ヨリ照會越候條右ヘ航行スルモノハ左ノ二ケ所ヘ着船スル義ト心得ヘシ

兵庫港　　兵庫島上町濱

神戸港　　國產波戸場

明治十九年八月廿五日　　大阪府知事建野鄉三

告諭第三号

虎列拉病流行ニ付テハ各自飲食物ニ注意スヘキ公展示達等ニ依リ熟知致居ル筈ニ候處死亡者有之節喪家ニ於テ吊慰者幷ニ會葬人等ヘ飲食物ヲ差出シ爲メニ該病ヲ誘發スルモノ不尠依テ此際喪家或ハ葬場等ニ於テ飲食物ヲ差出サヽル樣篤ク注意スヘシ

明治十九年八月三十一日　　大阪府知事建野鄉三

告示第二十三号

十市郡田原本村ニ設置アル三輪檢疫支郡出張所ノ義明三十一日限リ廢止シ三輪警察署田原本分署部内ハ三輪檢疫支部ニ於テ管理セシム

明治十九年八月三十日　　大阪府知事建野鄉三

告示第二十一号

西檢疫支部位置ノ義便宜ニ據リ西區北堀江三番町拾番地ニ移轉ス

明治十九年八月三十日　　大阪府知事建野鄉三

府令第十八号

本年甲第九十八号ヲ以府下虎列拉病流行中古着襤褸及紙屑古綿等ノ輸出入ヲ禁止スル旨及布達置候處各地病勢退縮候ニ付其健康地ヨリ輸入スル分ハ苦カラス

但輸入ノ際危險ノ虞アリト見認ムルモノハ消毒ス

明治十九年九月廿八日　　大阪府知事建野郷三

府令第二十号

府下虎列拉病追々減少候ニ付本年五月當府甲第七十三號布達ヲ廢止ス

明治十九年九月三十日　　大阪府知事建野郷三

府令第二十一號

府下虎列拉病追々減少候ニ付本年六月當府甲第百二號布達ヲ廢止ス

明治十九年十月一日　　大阪府知事建野郷三

告諭第五號

本年五月以來久シク猖獗ヲ極メタル虎列拉病勢逐日退縮シ目下四區ノ新患者一日拾名以下ニ減セリ其全ク消滅ニ至ルヤ必ス近日ニアルヘシ要スルニ

各自注意攝生ノ効ナリト云フ可シ然ルニ一時患者ノ減少シタル近府縣ニ於テ此頃患者再ヒ増加スルノ摸樣アルハ漸次病勢ノ減退セシニ甘シ自然攝生豫防等ノ注意ヲ怠ルヨリ起ルモノナルヤ疑ナシ就テハ府下ニ於テモ一旦減縮セシ病勢ヲシテ再ヒ増劇セシメサル樣各自ニ於テ一層注意ヲ加ヘ殊ニ腐敗セシ魚肉類又ハ採後久シキヲ經タル菌類ヲ食セサル樣篤ク注意スヘシ

明治十九年十月十五日　　大阪府知事建野郷三

告示第六十二號

警察署又ハ分署外ニ設置アル檢疫支部及出張所（三輪檢疫支部ヲ除ク）ハ今般便宜ニ據リ支部ハ其所轄警察署出張所ハ分署内ヘ移轉セシム

明治十九年十月廿七日　　大阪府知事建野郷三

府令第二十九號

神佛祭禮及開帳等ノ爲メ人民群集ノ義ハ本年當府甲第七十八號演劇興行ノ義ハ同甲第八十七號布達ヲ以テ及停止置候處虎列拉病勢逐日衰退候ニ付相當官吏ニ於テ衛生上無害ト認ムルモノニシテ其指示スル方法ヲ確守スルニ於テハ特許スルコアルヘシ

明治十九年十月二十八日

府令第三拾號

古着襤褸紙屑古綿等輸出入禁止ノ義本年甲第八十一號及甲第九十八號ヲ以テ及布達置候處自今西成郡天保町熱氣消毒所ニ於テ消毒濟ノ証票ヲ受ケタルモノニ限リ輸出入スルヲ得

但健康地ヨリ輸入スルハ消毒スルノ限ニ非ス

明治十九年十月廿九日

大阪府知事建野鄕三

府令第四十三號

管内各檢疫支部本日限リ廢止ス

明治十九年十二月四日

大阪府知事建野鄕三

府令第四十四號

本年當府甲第六十五號仝第七十八號仝第八十一號仝第八十七號仝第八十九號仝第九十號仝第九十八號仝第百十六號仝第百十七號布達及府令第十八號仝第二十九號仝第三十號總テ廢止ス

明治十九年十二月四日

府令第四十五號

本年虎列拉病ハ各府縣ニ流行シ殊ニ府下ノ如キハ其病性最モ獰惡ニシテ該病ニ罹リタルモノ二万〇五百人ヲ超過セリ依テ古着襤褸等ニシテ病毒附着ノ虞アリト認ムルモノハ當分ノ内西成郡天保町熱氣消毒所ニ於テ消毒ノ上証票ヲ受クルニアラサレハ輸出入ヲ許サス

明治十九年十二月四日

大阪府知事建野鄕三

告諭第六號

本年府下虎列拉病ノ流行シタル殆ト一ケ年ノ久シキニ亘リ不幸ニシテ該病毒ニ罹レルモノ二万五百餘人ノ多キニ至ル實ニ府下人民ノ一大災厄ト云フヘシ其病害ニ罹リタル原因ヲ探究スル時ハ各自平素不攝生又ハ衣服及住居等ノ不潔ヲ厭ハサルヨリ誘起スルモノ多ク之レ所謂自業自得ト云フニ外ナシ譬ヘハ門戸ノ鎖鑰ヲ忽ニシテ盜難ニ遭ヒタルト仝シ今ヤ冬季ニ向ヒ虎列拉ノ勢モ漸々衰ヘ幸ニ流行地モ解レタリ就テハ最早虎列拉ノ豫防ヲ不要ト思フモノモアルヘケレトモ未タ該病仝ク消滅ニ至ラス近ク客冬ノ病況ヲ思

ヒ較フレハ汚穢ノ候ト雖モ毎日二三人ノ患者ナカリシ日トテハナク依テ本年モ此末各自攝生ヲ懈タル時ハ折角消滅シタル惡疫ヲ又元ノ姿ニ立至ラシムルモ測ラレス實ニ目下自衛緊要ノ秋ト知ルヘシ尤此病ハ我ヨリ人ニ傳ヘ又人ヨリ吾ニ染ルトモ知リ得カタキモノナレハ各自相互ニ其身ヲ愼ミ此貴重ノ生命ヲ非業ニ殞サヌ樣心掛クルハ勿論此際此惡病ノ根ヲ剿絶再ヒ斯ル慘狀ニ遭遇セサル樣油斷ナク攝生ニ注意ス可シ

明治十九年十二月四日　　大阪府知事建野鄕三

府令第六十五號

當府撿疫本部本日限リ廢止ス

明治十九年十二月廿五日　　大阪府知事建野鄕三

府令第六十六號

本年當府甲第六十一號同第六十三號同第八十號同第百六號布達及府令第二號同第四十五號總テ廢止ス

明治十九年十二月廿五日　　大阪府知事建野鄕三

達第四百七拾八號

清潔委員事務規程別紙之通規定ス

但來ル明治二十年一月十日ヨリ施行シ實施手續ハ衛生課ヨリ通知スヘシ

明治十九年十二月廿五日　　大阪府知事建野鄕三

郡區役所

（別紙）

清潔委員事務規程

第一條　本年虎列拉患者アリシ家及不潔場所掃除スル爲メ廳內ニ清潔事務所ヲ設ケ其職員ヲ置クヿ左ノ如シ

一　事務長　警察本部長ヲ以テ充之

一　事務副長　衛生課長ヲ以テ充之

一　委員　第一課內事課衛生課員ヲ以テ充之

第二條　事務長ハ事ヲ知事ニ受ケ清潔法ニ關スル事務ヲ總理シ清潔事務職員ヲ指揮監督ス可シ

第三條　事務副長ハ職掌事務長ニ亞ク事務長不在ノ節ハ其事務ヲ代理ス可シ

第四條　委員ハ事務長ノ命ヲ受ケ事務ヲ分担シ且ツ事務長ノ耳目トナリ各清潔事務掛ヲ巡視シ其實施スル清潔方法及適否ヲ監督ス可シ

第五條　各警察署ニ清潔事務掛ヲ設ケ其掛員ヲ置クヿ左ノ如シ

一　掛長　警察署長ヲ以充之

一　委員　警部仝補又ハ巡査ヲ以テ充之

一　調理員　郡區書記以下ヲ以テ充之

一　清潔員　巡査ヲ以テ充之

第六條　事務掛長ハ事ヲ事務長ニ受ケ部内ノ掃除ヲ幹理シ且掛員ヲ指揮監督ス可シ

第七條　委員ハ事ヲ事務長又ハ掛長ニ受ケ現場ニ出張シ清潔員及人夫ヲ指揮督勵シ專ラ清潔事務ニ從事ス可シ其担當事務ニ付不行屆ノ廉アル片ハ一切其責ニ任ス可シ

第八條　調理員ハ事ヲ事務長又ハ掛長ニ受ケ器具及日々使役スル人夫賃等ヲ調理ス可シ

第九條　清潔員ハ事務長掛長又ハ委員ノ命ヲ受ケ現場ニ臨ミ人夫ヲ指揮督勵シ掃除一切ヲ司ルヘシ其擔當事件ニシテ怠慢又ハ不行屆ノ廉アルトキハ一切其責ニ任スヘシ

清潔法實施手續

第一條　本法ヲ實施スル場所ハ左項ニ限ルヘシ

一　本年虎列拉病患者アリタル家ニシテ曾テ清潔法施行セサル家

二　曾テ清潔法施行シタル後再ヒ患者アリシ家

三　不潔ノ家屋及其場所

第二條　大阪四區及接續町村ニ在リテハ前條ノ各項ヲ實施スヘシト雖モ郡部ニ於テハ第一項第二項ニ限リ施行ス可シ

第三條　本法ノ掃除ニ使役スル人足ハ四人乃至五人ヲ以テ一組ト爲シ其一組ニ清潔員二人ヲ付シ委員ハ其二組ニ一人ヲ付ス可シ

第四條　大阪四區清潔事務掛ニ在リテハ委員擔當方面ヲ定メ本法施行中ハ可成其擔當方面ヲ變更セサルヲ要ス而シテ日々使役スル人夫ハ一清潔事務掛ニ八組トス

第五條　本法實施セントスル場所ハ其日限ヲ定メ二日以前清潔事務掛ヨリ所轄區役所又ハ戸長役場ヘ通知スヘシ其通知ヲ受クル區役所戸長役場ハ卽日該町村人民ヘ其旨告知ス可シ

第六條　第一條ノ各項掃除ハ左項ニ從フヘシ

一　家屋ノ周囲及床下ニ至ル迄消毒藥ヲ散布シ後家人ニ命シ疊ハ湯ヲ以

テ之ヲ拭フヘシ

二　床板ハ之ヲ取外シ其床下ヲ掃除シ不潔物塵芥等ハ便宜ノ餘地ニ於テ燒却シ又ハ人家公道或ハ飲料水ヲ隔絶スル土地ヘ埋沒スヘシ

三　便所ノ板張蹈板及壺ノ周囲等ハ水ヲ以テ之ヲ洗ヒ後充分ニ消毒藥ヲ散布シ置クヘシ

四　患家ノ隣等棟續ニシテ天井又ハ床下ノ境界ナキ所ハ總テ掃除ヲ爲スヘシト雖モ消毒藥等散布ニ及ハス

五　大阪四區接續町村ニ在テハ患家ニ用ヒタル蒲團類ヲ天保町消毒所ニ運搬シ消毒ヲ爲ス可シ

六　患家ノ井戸ニシテ轉飯后浚渫セサルモノ及其已ニ浚渫濟ト否トニ拘ハラス構造不完全ニシテ汚水浸入ノ憂ヒアルモノハ家主ニ命シテ浚渫又ハ修繕セシムヘシ而シテ其費用ハ總テ家主ノ負擔トス

七　不潔ノ家屋及場所ハ其不潔物ヲ取除キ汚物ハ便宜ノ餘地ニ於テ之ヲ燒却シ又ハ人家公道飲料水ヲ隔絶スル土地ヘ埋沒スヘシ

但公設ノ塵芥溜ハ掃除スルニ及ハスト雖モ私設ノ分ハ其設置者又ハ其有者ニ命シ本文ノ如ク處置セシム可シ

第七條　前條ノ掃除ヲ爲サントスル家屋ニ住スルモノニシテ使役ニ足ルヘキ男子アルトキハ可成其男子ヲ使役ス可シ

第八條　本法實施ニ付要スル消毒藥及左ノ費用ハ豫算ヲ以テ事務掛長ヨリ事務長ヘ請求ス可シ

一　人夫賃及器具費其他雜費

第九條　本法實行中ハ本廳事務所ヨリ臨檢シ不適當ト見認ルトキハ臨機指示再掃除セシムルコトアルヘシ

豫防消毒ノ成績概畧

本年實施セシ所ノ豫防消毒法タルヤ總テ十三年九月內務省乙第三十六號達并十九年五月訓第三二一號虎列刺病豫防消毒心得書ニ準據セシヲ以テ特別ニ記載スヘキモノナシト雖ﾓ今其實施セシ方法中ニ就キ最モ好結果ヲ得タリト認ムル所ノモノヲ掲ケンニ(第一)發病者アリシ家ノ消毒法ハ最モ迅速ナルヲ要スルヲ以テ本年流行ノ初ニ當リ輕便ナル一車ヲ造リ消毒藥品掃除器具等ヲ積載セ置キ患者發生ノ通知ヲ得テ撿疫委員ノ派出スル每ニ該車ヲ馳セタルハ大ニ消毒其機會ヲ失セサルノ好結果ヲ得タリ(第二)交通遮斷法ニシテ無知ノ頑民毫モ病毒ノ畏避スヘキヲ悟ラス或ハ少シク之ヲ悟ル者アルモ親族若クハ近隣ノ情誼ニ泥テ病家ヲ訪來ルノ弊ナキニアラサレハ一家ノ交通遮斷ハ稍々此弊ヲ防キタルモノヽ如シ(第三)不潔ナル一長屋內ニ數名ノ患者ヲ生スルヿアレハ其患者ハ盡ク避病院ニ送リ然ル後其長屋內ニ住スル健康者ヲ擧テ隔離セル寺院ニ送クリ其長屋ハ盡ク大掃除ヲ行ヒ硫黃薰蒸法ヲ施シ大抵一週間ヲ經ル後健康者ヲシテ復住セシメタルハ頗ル奏功アリタルニ似タリ(第四)本病ノ殊ニ下等貧民ニ多キハ固ヨリ衣食住ノ不完全ナルニ起因スルモノナルヘシト雖ﾓ此盡ニ在テハ元來豫防攝生ノ何タルヲ知ラスシテ不完全ノ衣食住ニ加フルニ毫モ自衛心ナキノ致ス所ナラント察シ蔓延ノ

最モ甚シキ部落ニ於テハ特ニ委員ヲ派出シ裏長屋毎ニ男女老弱ヲ問ハス之ヲ集合シテ本病ノ畏避スヘキ理由傳染ノ原因及ヒ豫防攝生ノ忽セニスヘカラサル事等ヲ懇々説話シ且ツ輕易ノ吐瀉病ト雖モ届出レハ速ニ撿疫醫ヲシテ治療ヲ施サシムヘキ旨ヲ數回説示セシメタルニ其功ノ虚シカラサリシヲ覺ヘタリ其他六七月ノ交ニ當テ不潔家屋及本病患者アリシ家ニ就キ施行シタル清潔法ハ則チ屋内ノ不潔物ヲ除キ稀薄石炭酸水ヲ以テ洗滌シ床下ハ土砂ヲ入換ヘ或ハ石灰ヲ撒布スル等ナリシカ此法ハ各部ニ於テ共成績ヲ同フセス要スルニ好結果アリシト明言シ難シ獨リ西成郡天保町ニ新設セル熱氣消毒所ハ濕熱ノ爲メニ變色スヘキ物質ニ乾熱ヲ用ヒ其變色ノ虞ナキ物質ニハ濕熱ヲ用ユルノ裝置ニシテ流行中停止ニ係ル古着襤褸等ニ消毒法ヲ行ヒ其証票アルモノニ限リ各地方ニ輸出入スルヿヲ特許セラレ之レカ爲ニ當業者ハ競テ物品ヲ消毒シ之ヲ他地方ニ輸送セシニ大ニ信用ヲ博スルニ至リタリ

治療ノ方法

各開業醫ノ治療法ハ種々ニシテ一定セス殊ニ本年ノ流行ニ於テハ患者アル毎ニ大抵避病院ヘ送リタルヲ以テ單ニ開業醫ノ治療ヲ受ケタル者甚タ少ナク從テ其成績ノ記スヘキモノナシ故ニ各避病院ヨリ報告セル治療方法ヲ摘錄シテ之ヲ左ニ掲ク

天王寺避病院

本年當院ニ於テ歴驗セシ治療法ニ就キ其利害得失ノ大概ヲ記スルヿ左ノ如シ

止瀉ノ目的ヲ以テ諸收斂藥及阿片劑ヲ用ヒタレトモ皆無効ニ屬セリ殊ニ阿片ノ如キハ急性腸加答流其他ノ症ニ於テ止瀉ノ力强キニモ拘ハラス虎列刺病ニ於テハ宜ニ止瀉ノ功ナキノミナラス反テ危險症ノ發現ヲ催進スルモノヽ如シ故ニ當院ニ於テ最初ハ鎮吐止瀉ノ方法殊ニ阿片劑ヲ試用セシモ中頃ヨリ斷然之レヲ廢シタリ

當院ニ於テハ主トシテ「ステヰウエン」氏ノ亞爾加里鹽療法ニ基キ患者ヲ處置セリ此法固ヨリ確乎タル効驗ヲ呈シタルヿ無シト雖モ本病療法中有利無害ノ一法タルハ信シテ疑ハサル所ナリ

甘汞療法ハ屢々試ミタレモ顧シテ其効ナキヲ信ス此藥ヲ持長スレハ瀉物變シテ暗黑色ヲ呈ス是レ甘汞ノ化シテ硫化汞トナルニ因ル

冷水氷片麥湯等ハ患者ノ意ニ任セテ自在ニ之レカ飲用ヲ許シタリ蓋シ患者ニ充分ノ飲料ヲ許スハ實ニ本病治療上一大要件タルヲ信ス

武蘭地其他ノ酒類ヲ虛脱期ニ用ヒタリト雖モ單純ノ冷水氷片等ニ比スレハ其飲用ニ堪ヘサル者多ク又タ之レカ爲ニ反應ヲ起シタリト思考スヘキモノアラス而シテ反應已ニ起リ脈搏算スヘキニ至レハ本品ノ持長ヲ要セサルカ如シ

依的兒及龍腦ノ皮下注入法ハ虛脱期ニ於テ反覆之ヲ施スモ興奮ノ功ヲ奏セシヲ認メス只絶脈ニ先テ之ヲ施セハ稍々脈搏沈減ヲシテ遲延ナラシムルヲ覺フルノミ

反應期中嘔氣アル者ニハ石炭酸ノ内用稍々効アルカ如シ蒼鉛劑及攝個毋劑ノ如キハ皆無効ニ屬セリ

靜脈注入法ハ多數ノ患者ニ試ミタリ其藥方ハ蒸餾水千分食鹽五分硫酸曹達十分ノ溶液ニシテ一回ノ注入量ヲ二「リートル」以上トス絶脈瀕死ノ患者ニ此法ヲ施スニ方リ大約一「リートル」ヲ注入スル頃ニハ煩悶鎭マリ傍人ノ問ニ應シ皮膚半ハ常色ニ復シ呼吸安徐トナリ脈搏算シ得ヘキ等一時佳候ヲ呈スレ

モ惜クハ此佳候ヲ維持スルヿ能ハス術後一二時ヲ經レハ再ヒ惡徵ヲ呈シテ遂ニ斃ルヽニ至ル

亞爾加里鹽溶液ノ皮下注入法モ亦屢々之ヲ試ミタリ然レモ一モ良好ノ成績ヲ得サルノミナラス前法ニ於ルカ如ク一時ノ佳候ヲモ見ルヿ能ハサリキ

冷水浴及全腹ノ冷罨法ハ効ナキモ害アラサルヲ信ス殊ニ冷水浴ヲ施セハ患者忽チ爽快ヲ覺ヘ安眠ニ就クヲ例トス故ニ一回此法ヲ施セハ反復之カ施行ヲ望ム者十中ノ七八ニ居レリ

温浴及芥子浴ハ初期ニ之ヲ施スハ敢テ妨ナシト雖モ將ニ虛脱ニ陷ラントスル者或ハ已ニ虛脱ニ陷リタル者ニ本法ヲ施スハ益々衰脱ヲ促スノ害アルヲ覺フ

轉筋ニ「コカイン」ノ皮下注入法ヲ施シテ稍々効アルヲ認メタリ然レモ反復施行スルニアラサレハ其効ヲ持續セシムルヿ能ハス嘔囉防、底列並油及芥子泥等ノ外用ハ皆無効ニ屬ス

芥子泥ハ注意シテ貼用セサレハ局處ニ後害ヲ貽スヿアリ蓋シ嘔吐ヲ鎭メ轉筋ヲ緩ムル爲ニ胃部或ハ四肢ニ之ヲ貼スレハ其効固ヨリ確乎タラサレモ敢テ害ナキモノトス

以上ノ他世ニ有効ノ方法ト稱スルモノ大抵試用シタリト雖モ一モ効ヲ得サ

リヲハ甚タ遺憾ナリキ

千島避病院

本院ニ於テ施シタル治療ノ大畧ヲ左ニ列記ス

本病ノ初期ニ於テ止瀉ノ目的ヲ以テ用ヒタル藥物ハ阿片鉛糖若クハ硝酸銀ナリ然レトモ一モ効驗アルヿナク殊ニ阿片ノ如キハ宿ニ効ナキノミナラス一種ノ腦病ヲ發シ豫後ヲシテ却テ險惡ナラシムルヿ往々之レアリ依テ本院ニ於テハ阿片ヲ用ユルヿヲ廢止セシ以來ハ一種ノ腦病ヲ發スル者大ニ減シタリ

銀嘔劑トシテハ次硝酸蒼鉛蓚酸撒個毋等ロ重炭酸曹達及ヒ少量ノ莫爾比涅ヲ伍用セシモ敢テ其ノ効ナク寧ロ鑛酸及ヒ植物酸ハ稍々効アリシモノヽ如シ

昇汞及甘汞療法ハ數十人ニ試ミタルモ寸効アルヿナカリキ

虛脱期ニ用ユル依的兒皮下注入ハ興奮諸藥中最モ賞用スヘキ者ニシテ通常二筒乃至三筒ツヽ毎三十分時ニ數回反覆スルヲ宜シトス龍腦注入ハ敢テ功アルヿナシ

温浴及芥子浴ハ開院後之ヲ百三四十八ニ施セシモ効驗ナカリキ

水、葛湯、茶若クハ氷片ヲ隨意ニ與ヘタルニ頗ル佳徴ヲ呈セシニ似タリ故ニ本病ニ於テ飲料ヲ隨意ニ與フルハ治療上飲クヘカラサルモノト信ス

武闌地、葡萄酒設里酒等ヲ虛脱期ニ用ヒシモ其功武蘭地ノ右ニ出ルモノナシ

轉筋ニハ氷片ノ摩擦、「コカイン」ノ注入、依的兒ノ注入、嚼嚙防、芥子泥、電機等ヲ用ヒシカ一モ著シキ効アルモノナシ然レトモ反覆施行スレハ稍其功ナキニアラス

反應期ノ吃逆ニハ種々ノ藥劑ヲ用ヒシカ就中石炭酸ノ丸劑其効最モ著明ナルヲ覺ヘタリ

靜脉注入法ハ三十二名ノ患者ニ施セリ其注入劑ハ蒸餾水千分食鹽五分硫酸曹達十分重炭酸曹達十分ヨリ成ル者ニシテ一回ノ注入量ヲ二「リートル」乃至二「リートル」半温度ヲ攝氏三十七度半トス瀕死ノ患者ニ之ヲ施スニ大約七八百瓦ヲ以テスレハ頗躁悶ニ止ミ呼吸緩徐トナリ脉搏活潑トナリ皮膚ノ「チヤノーセ」減退シ一時佳徴ヲ呈セシモ多クハ此佳徴ヲ持續スルヿ能ハス再ヒ惡徴ヲ呈シテ斃レ全治ヲ得タル者僅ニ三名ノミ由是觀之該療法ハ賞讃スヘキモノナレトモ其術複雜ナルヲ以テ本年ノ如キ多數ノ患者ニ盡ク之レヲ施行スルヿ能ハサルノ不便アリ

本院開設後二週間患者凡ソ六百名ニハ前述ノ數法ヲ試ミ傍ラ其病勢ノ景況

及經過等ヲ熟察シ遂ニ一ノ主劑ヲ定メタリ其方左ノ如シ

鹽酸里沒奈埃　二〇〇〇

武　蘭　泥　一五〇

番木鼈丁幾　二〇

右一日量トシ數回ニ分服セシム

但シ主トシテ此劑ヲ用ユト雖モ偶發症ニ就テハ兼劑トシテ適當ノ對症療法ヲ施セリ

又本院ニ於テ施行セシ冷水浴法ノ意見及成績ハ左ノ如シ

開院以來歐洲諸家ノ實驗説ニ從ヒ或ハ病理ノ本源ニ溯リ本病ノ治法ヲ研究シテ怠ラサリシモ百方効ナク靜脉注入ノ如キ其法ハ賞讃スヘキモ其術複雜ニシテ多數ノ患者ニ普ク之ヲ施シ難キ不便アルヲ奈何セン然ルニ七月上旬入院ノ一患者看護人ニ就テ斗餘ノ水ヲ求ムル者アルヲ聞キ其何ノ爲ナルヲ知ラス乃チ其室ニ至テ患者ノ景況ヲ視ルニ得ル所ノ水ヲ以テ盡ク衣衾ヲ濕シ其上ニ平臥ス且ツ曰ク此ノ如クスレハ大ニ輕快ヲ覺フト之ヲ診スルニ前日ヨリモ佳徴ヲ呈ス是ニ於テ古書ニ虎列刺病ヲ一ツ神經症トシ脊髓冷卷法ノ効驗アルヲ説キシハ我ヲ欺サルヲ悟リ試ニ冷水浴ヲ施セシニ果シテ施浴者百八ニ付五十一人餘ノ全治ヲ得タリ蓋シ其浴法ニハ

昇汞四瓦氷片二十斤水一石ノ液ヲ用ヒ其内ニ入浴セシムルヿ十分乃至十五分時間ニシテ此ノ如クスルヿ一日ニ三回乃至六回浴後ハ温布ヲ以テ全身ヲ被覆シ安靜ニ平臥セシムレハ半時乃至一時間安眠スルヿヲ得ルナリ然レ𪜈該療法ノ如キモ畢竟一ノ對症療法ニシテ只自然良能ヲ輔佐スルニ過キサレハ傍ラ諸藥ヲ投シ病毒ヲシテ体内ヲ謝シ去ラシムルヿヲ務ムヘキハ固ヨリ論ヲ俟タス

長柄本庄避病院

本院ニ於テハ其療法ノ目的ヲ左ノ三種ニ區別シテ効驗ノ有無ヲ確定セシヿヲ勉メタリ

第一　膓胃ノ患害ヲ剋制シテ暴吐瀉ヲ鎮止スルニ在リ

第二　濃稠ナル血液ニ水分ヲ補給スルニアリ

第三　心臟ノ麻痺ニ陷ルヲ防禦スルニアリ

第一期卽チ泄瀉期ニ在テハ拕歇爾私散阿片或ハ剌宇達扭謨ヲ與ヘ褥中ニ温覆セシメ且ツ湯婆ヲ以テ專ラ發汗ヲ促カシ胃區ニハ温巴布ヲ貼セリ或ハ收斂療法トシテ阿片ニ鉛糖或ハ單寧酸等ヲ伍用セリ但シ阿片ノ本病ニ於ケル古來稱用スル所ナレ𪜈多量ヲ反覆シ用ユルカ爲メ畏ルヘキ後害アルハ屢々